

# 令和2年度 事業年報

# はじめに

平素は、公益財団法人滋賀県健康づくり財団の事業の運営に、関係各位のご支援、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもの財団は、昭和 55 年の財団法人滋賀県保健衛生協会としての設立以来、その事業を引き継ぎ、疾病の予防、早期発見および健康の保持増進を図るための必要な事業を行うことにより、県民の健康寿命の延伸への貢献をはじめとした県民の福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施しております。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延が、国民生活や経済活動等に多大な影響を及ぼすことになりました。私ども財団の健診（検診）事業においては、令和 2 年 4 月に発出された緊急事態宣言の期間中に、各団体・事業所において事業の実施が控えられることとなりました。5 月末の緊急事態宣言解除後においては、密閉空間、密集場所、密接場面を回避する三密対策が取られ受診者数を制限し再開されることとなりました。私どもでは、検査機器の消毒の徹底などの対策を行ってまいりましたが、受診控えも重なったことで、受診者数が著しく減少する結果となりました。

こうした状況にあって、公益財団法人日本対がん協会をはじめとした関係機関において健診（検診）受診者数の減少による国民の健康生活の維持が懸念されてきました。がん検診において、がんの発生そのものが減るわけではないことから、今後、がんの発見が増えるとともに進行がんの割合が増すことが危惧されています。健診（検診）を受けていただくことの重要性が改めて訴えられています。

新型コロナウイルス感染症の感染状況の先行きを見通すことが難しいなかではありますが、引き続き、緊張感をもって必要な対策を実施しつつ、健診（検診）事業を始めとした諸事業に着実に取り組んでまいりますので、ご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

このたび、令和 2 年度の当財団の事業の取組みの概要を「事業年報」としてまとめました。ご高覧いただきご意見を賜れば幸甚です。

令和 4 年 3 月

公益財団法人滋賀県健康づくり財団  
理事長 中井 清

# 目 次

はじめに

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業	
(1) 普及啓発事業	1
(2) がん対策推進事業	2
(3) 複十字シール募金運動事業	5
(4) がん検診精度管理事業	6
(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業	8
(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業	14
(7) 健診（検診）相談事業	14
2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業	
(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業	16
(2) 結核健診事業	24
(3) がん検診事業	28
(4) 検査事業	47
(5) 健診結果分析評価事業	51
(6) 健康づくり事業	51
3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業	
(1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業	53
(2) アイバンク事業	54
(3) 腎臓バンク事業	56
4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業	
(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業	57
(2) 母子保健関連推進事業	58
(3) 医師会健診データ電子化事業	59
5. その他財団の目的を達成するために必要な事業	
(1) 結核予防会滋賀県支部事業	62
(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業	63
(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業	63
6. 精度管理	65
7. その他の活動記録	
(1) 沿革	66
(2) 役員会の開催状況	66
(3) 年間行事	69
(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等	70
8. 組織、役員名簿	
(1) 組織	71
(2) 役員名簿	72

---

---

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

---

---

- (1) 普及啓発事業
- (2) がん対策推進事業
- (3) 複十字シール募金運動事業
- (4) がん検診精度管理事業
- (5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業
- (6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業
- (7) 健診（検診）相談事業

# 1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

## (1) 普及啓発事業

県民一人ひとりが健康づくりの知識を深め、自分の健康は自分で守るとの理念の下、疾病の予防、早期発見に役立つ各種健診(検診)の受診率向上を図るため、各種疾病の予防や強調月間等に合わせ、ポスター掲示やリーフレット活用を通じ各市町、関係団体とも連携を図り、県民に

対し健康づくりの普及啓発に努めた。

また、当財団が進める事業について、県民の皆さんや関係者に広く周知し、理解を得るため、財団ホームページ等を活用して各事業の普及啓発に努めるとともに、スマートフォンに対応したホームページのリニューアルを行った。

さらに、財団の活動実績を「事業年報」としてまとめ、ホームページに掲載した。

加えて、びわ湖放送の新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発CMへの協賛を行った。

表 1 令和 2 年度印刷物等の配布実績

種類		数量	配布先	備考
パンフレット	対がん協会報	650	がん検診検討会各部長、県、市町関係機関等	毎月 50 部 増刊号 50 部
	結核の常識 2020	4,900	県、保健所、市町、関係機関等	
	複十字誌	750	〃	年 6 回 125 部/回
	複十字シール運動 (リーフレット)	10,220	〃	
	健康の輪	270	〃	年 3 回 90 部/回
ポスター	がん征圧月間	70	〃	
	結核予防週間	250	〃	
	禁煙	70	〃	
	複十字シール運動	160	〃	
チラシ	乳がんのセルフチェック	3,100	〃	
	がん検診	2,700	〃	
年報	事業年報	財団ホームページ掲載	〃	

## (2) がん対策推進事業

がんについての正しい知識の普及と、がん検診の受診率向上をめざし、次の事業を実施した。

### ①滋賀県がん対策推進運動実行委員会事業

実行委員会を組織し、がんについての正しい知識を普及し、がん検診の受診行動を起こすことを目的として、実行委員会の開催および4つのプロジェクトからなるムーブメントレター活動を実施した。

#### I. 滋賀県がん対策推進運動実行委員会の開催

##### i 第1回実行委員会

日時 令和2年7月6日(月) 14:00 ~ 15:30  
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室  
内容 令和2年度滋賀県がん対策推進運動事業について  
啓発動画等の企画、啓発資材の活用、各団体のがん対策の取り組み状況について

##### ii 第2回実行委員会

日時 令和3年3月1日(月) 14:00 ~ 15:00  
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室  
内容 令和2年度滋賀県がん対策推進運動事業実施結果について  
次年度の活動の方向性について  
協賛依頼団体について  
啓発資材の活用について  
がん検診ススめ隊プロジェクトについて(子宮頸がん・乳がん無料検診)  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインも併用して開催した。

#### II. 滋賀県がん対策推進運動実行委員会事業実施内容

がんについての正しい知識の普及し、がん検診の受診行動を起こすことを目的として、以下の4つのプロジェクトからなるムーブメントレター活動を実施した。

##### i がん検診受診啓発広告プロジェクト

動画や活字での啓発メッセージを配信することにより、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的として以下の活動を実施した。

###### ・啓発テレビCMの放送

期間 令和2年9月～令和2年10月  
方法 びわ湖放送 15秒テレビCM35本

###### ・啓発ラジオCMの放送・防災ハンドブックの広告欄掲載

期間 令和2年9月～令和2年10月  
方法 エフエム滋賀 20秒ラジオCM14本

「防災ハンドブック」の広告欄にがん検診受診啓発の広告を掲載(県内全226枚の小学3年生～6年生を対象に配布、校内設置を実施。)

###### ・啓発ノベルティの作成・配布

「いつ受ける?声かけしよう がん検診」のメッセージと実行委員会の名入れをした歯ブラシセット2,000個を作成し、以前に作成した啓発ノベルティとあわせて、実行委員会構成団体が実施する啓発活動にて配布した。

### Ⅲ. 大切な人へのお手紙プロジェクト

学校支援メニュー「におねっと」への情報掲載や、滋賀県教育委員会主催のがん教育研修会でのチラシ配布等でがん出前講座を周知し、依頼のあった学校4校で当財団の医師によるがん教育を実施した（参加人数609名）。

がん教育を受けた児童、生徒には、家族等の大人に向けてメッセージカードを記載してもらい、がん検診に関するリーフレットと一緒に、実行委員会名入れ封筒に入れて渡して頂いた。メッセージカードは4校に合計638枚配布した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4校のうち2校はオンラインを利用して実施した。

### Ⅳ. がん検診ススめ隊プロジェクト

当財団の医師または保健師によるがん講座の出張セミナーを働く世代を対象に実施した。

#### （1回目）

日時 令和2年8月20日(木) 13:30～14:40

場所 社会福祉法人ゆたか会 清風荘

内容 食中毒の予防について

がん検診について

参加者数 約35名

#### （2回目）

日時 令和2年12月23日(水) 14:30～15:35

場所 滋賀県政策研究センター(ピアザ淡海4階)

内容 働く人の健康づくり

「がん」のことをもっと知ろう

参加人数 県技能労務職員20名

#### （3回目）

日時 令和3年3月18日(木) 16:00～17:15

場所 坂本支所1階和室

内容 働く人の健康づくり

「がん」のことをもっと知ろう

参加人数 約20名

### Ⅴ. お知らせプロジェクト

#### i がん対策活動団体情報交換会の開催

滋賀県内でがん対策についての活動をしている団体同士がつながる機会が大変少ない状況であることから、お互いの活動の推進を図り、滋賀県のがん対策を推進することを目的として、情報交換会を開催した。

また今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの参加枠も設け、意見交換等を行った。

日時 令和2年9月11日(金) 10:00～12:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

内容 各団体の今年度の事業予定について

がん対策活動団体イベントスケジュールのHP掲載について  
令和2年度 滋賀県がん対策団体・民間等自主事業費補助金について  
資金集めに関する情報提供(寄付型自動販売機やクラウドファンディング  
の仕組みについて)

ii がんについての情報提供

・滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページの運営、啓発動画の掲載の他、県内  
が

ん対策活動団体の活動を掲載するとともに、がん検診に関する各種リーフレットを更新  
し、ホームページへ掲載した。

(URL : <https://kenkou-shiga.securesite.jp/gantaisaku/>)

・リーフレットの配布

がん検診を受ける時に必要な情報を掲載したリーフレットについて、がん教育として  
実施した「大切な人へのお手紙プロジェクト」で配布した。638部(4校)また、施設  
内

健診受診者に、がんに関するリーフレットを配布した。(1,025部)

②事業所における女性がん検診の推進

若い世代で増加している子宮頸がんや最も罹患者数の多い乳がんの早期発見の機会となる  
よう、日本対がん協会が発行する「がん検診無料クーポン券」を活用し、女性がん検診を実施  
した。

また、女性のがん検診について働く世代の方々に関心を持っていただき、受診につなげる  
ため、がん検診ススめ隊プロジェクトの「がん講座出張セミナー」  
を事業所で実施することで、女性がん検診の受診啓発を行った。

I. がん検診無料クーポン券を活用した女性がん検診

対象者 滋賀県内に住む、今年度がん検診を受診していない方

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 健診センター

実施数 子宮頸がん検診 3名

乳がん検診 14名

③その他の啓発活動

I. リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2020への参加

がん対策活動団体とともに、がんについての知識の普及やがん検診受診率向上に向けての  
活動を実施した。

日時 令和2年10月24日(土) 12:00 ~ 令和2年10月25日(日) 12:00

方法 特設ホームページにて動画配信

内容 日本対がん協会啓発動画「がんのミニ知識」

子宮頸がん、乳がん無料検診のご案内動画

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催となった。

II. がん対策活動団体への学習会

がん対策に取り組む団体に対し、有効な情報や健康に関する知識についての学習を通し  
て、よりよい活動の促進を図るため、あけぼの滋賀と協力して乳がん患者の集いを開催し  
た。



#### 第1回 乳がん患者の集い

日時 令和2年12月3日(木) 13:00 ~ 15:00  
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室  
内容 がんの体験談等話し合う  
参加人数 9名

#### 第2回 乳がん患者の集い

日時 令和3年3月4日(木) 13:00 ~ 15:00  
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室  
内容 がんの体験談等話し合う  
参加人数 13名

### (3) 複十字シール募金運動事業

この運動は、結核・肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの呼吸器疾患をなくすために世界80か国以上で行っている活動で、100年を超える歴史を持つ由緒ある運動である。結核をなくして健康で明るい社会をつくるために、結核予防にかかる啓発、研究、健診、検査などの資金造成を図ることを目的として、厚生労働省、文部科学省、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の後援を得て、全国的に8月1日から12月31日の期間を中心に実施している。

この運動で募金された資金は、調査研究費、普及啓発費、事業助成費、国際協力費等に使われている。

募金額 143件 859,668円

#### ①結核予防啓発活動

例年は、9月の結核予防週間の前に、駅やショッピングモールで「結核予防週間」・「複十字シール運動」ののぼり旗を掲出し、啓発資材の配布や複十字シール運動募金の呼びかけを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭啓発を中止し、FMラジオのスポットCMによる結核予防啓発および複十字シール運動募金の呼びかけを結核予防週間に実施した。

日時 (1回目)令和2年9月23日(水) 8:40 ~  
(2回目)令和2年9月24日(木) 8:40 ~  
(3回目)令和2年9月25日(金) 13:30~  
※各回1分間のCM

放送局 株式会社エフエム滋賀

内容 ラジオパーソナリティが1分間語り口調で、結核予防の啓発と結核予防週間の周知、また、複十字シール運動募金の呼びかけを実施した。

視聴者数 延べ139,600人(3回CM合計)(株式会社エフエム滋賀調べ)

#### ②結核予防事業協賛秩父宮妃記念杯における啓発活動

日時 令和2年10月15日(木) 13:00 ~ 16:00

場所 びわこ競艇場

内容 結核予防事業協賛によるレースの開催期間中にあわせた結核予防の啓発と複十字シール運動募金活動の実施。

③募金実績額

表 1 募金実績額の推移

(円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 (令和元)年度	令和 2 年度
募金実績額	1,362,911	1,149,183	997,610	1,022,130	859,668

表 2 令和 2 年度 募金依頼先別募金実績額

募金資材	募金依頼先	令和 2 年度	
		資材数	実績額
封筒セット (部)	各市町	3,550	242,825
	滋賀県	800	110,700
	滋賀県地域女性団体連合会	1,000	123,800
	その他	41	10,000
	小計	5,391	487,325
大型シール (枚)	郵送募金 (個人, 会館等)	480	255,500
	組織募金 (医師会)	910	53,000
	組織募金 (歯科医師会)	540	17,000
	小計	1,930	325,500
小型シール (枚)	組織募金 (薬剤師会)	1,300	36,000
	その他 (街頭募金等)	1,434	10,843
	小計	2,734	46,843
合計			859,668

(4) がん検診精度管理事業

県民の健康を保持し、がんの早期発見に努めるため、精度の高い検診の実施を目的とした精度管理を行うとともに、検診従事者の育成および資質の向上をはかることにより、県民が安心してがん検診を受けられるよう体制整備を図った。

事業内容は、次の各号に挙げるものとし、平成 20 年 3 月 31 日付け健総発 0331012 号厚生労働省健康局総務課長通知「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき実施した。

また、マンモグラフィ読影の資質向上のため「乳がん検診マンモグラフィ読影研修会」を開催した。

①がん検診検討会

がん検診検討会の中に、胃がん部会・子宮頸がん部会・乳がん部会・大腸がん部会・肺がん部会の 5 部会を設置し、各部会の他、5 部会の部会長および保健所長との部会長会議を開催した。

I. 部会長会議

日時 令和2年8月27日(木) 17:00 ~ 18:30  
場所 滋賀県庁北新館5A会議室(オンライン開催)  
参加者数 部長：5名 保健所長：6名

## II. 肺がん部会

日時 令和2年11月17日(火) 16:00 ~ 17:05  
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)  
参加者数 委員9名(委任状2名)、オブザーバー2名、傍聴者25名

## III. 乳がん部会

日時 令和2年11月26日(木) 16:00 ~ 17:50  
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)  
参加者数 委員11名(委任状1名)、オブザーバー3名、傍聴者26名

## IV. 子宮頸がん部会

日時 令和2年12月17日(木) 14:30 ~ 15:30  
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)  
参加者数 委員11名、オブザーバー2名、傍聴者22名

## V. 胃がん部会

日時 令和2年12月23日(水) 15:00 ~ 16:30  
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)  
参加者数 委員11名、オブザーバー2名、傍聴者25名

## VI. 大腸がん部会

日時 令和3年1月28日(木) 17:30 ~ 19:00  
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)  
参加者数 委員9名(委任状1名)、オブザーバー~~3~~2名、傍聴者~~19~~23名

## ②がん検診従事者講習会

がん検診従事者講習会は、次の内容で実施した。

### I. 子宮頸がん検診従事者講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止

### II. 乳がん検診従事者講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止

### III. 消化器(胃)がん検診従事者講習会

日時 令和3年3月6日(土) 13:30 ~ 16:00  
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)  
内容 症例検討①

「対策型内視鏡検診で発見された胃がん症例検討」

講師 地方独立行政法人 市立大津市民病院 院長 若林直樹 氏  
病例検討②

「胃X線検診において発見された胃がん症例検討」

講師 医療法人社団仁生会 甲南病院 顧問 坂本力 氏

参加人数 83名

### IV. 肺がん検診従事者講習会

日時 令和3年3月13日(土) 13:30 ~ 14:45  
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)  
内容 「胸部X線撮影のあれこれ」  
講師 滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 吉村雅寛 氏  
症例検討  
「県内市町が行った平成30年度がん検診でのがん発見症例の解析」  
講師 滋賀医科大学放射線医学講座 園田明永 氏  
参加者数 65名

③乳がん検診マンモグラフィ読影研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止

**(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業**

本県の公衆衛生に関係する多くの者が一堂に会し、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表することにより、相互に研さんと理解を深め、本県の公衆衛生の向上に資するため、第51回滋賀県公衆衛生学会を令和3年2月18日に開催した。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催とし、発表は、新型コロナウイルス感染症に関する演題に限定して実施するとともに、学会の動画を財団ホームページに掲載した。また、その他の演題については財団ホームページの要旨集に掲載するのみとした。

日時 令和3年2月18日(木) 13:00 ~15:40  
場所 【総合司会・事務局】 滋賀県健康づくり財団  
【滋賀県知事表彰会場】 滋賀県庁  
【第1会場】 大津市保健所  
【第2会場】 草津保健所  
【第3会場】 甲賀保健所  
【第4会場】 東近江保健所  
【第5会場】 彦根保健所  
【第6会場】 長浜保健所  
【第7会場】 高島保健所  
【他会場】 下田薬局  
研究発表 12 演題(要旨集紙上掲載 17 演題)  
特別講演 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現状と課題」  
講師 滋賀県健康医療福祉部医療政策課 課長 切手俊弘 氏  
参加者数 32名(発表者・各会場視聴者)  
学会動画掲載 財団ホームページ(滋賀県公衆衛生学会のページ)  
掲載期間：令和3年2月26日(金) ~ 3月20日(土)  
視聴回数：151回

表1 第51回滋賀県公衆衛生学会演題発表一覧

○第1会場 大津市保健所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
1	高齢者保健福祉	新型コロナウイルス感染症流行期における地域包括支援センターの役割と課題についての考察	大津市比叡地域包括支援センター

○第2会場 草津保健所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
2	臨床検査	新型コロナウイルス検査拡充に向けた検体採取、PCR検査研修会開催の取り組みについて	滋賀医科大学医学部附属病院
3	感染症	新型コロナウイルス感染症の個別支援から地域の支援体制構築に向けた取り組み	南部健康福祉事務所（草津保健所）
4	歯科保健	「新型コロナウイルスに負けるな」リーフレットの活用について～「今こそ口腔ケアを！」～	一般社団法人草津栗東守山野洲歯科医師会 在宅歯科医療連携室
5	感染症	新型コロナウイルス感染症の病院クラスター事例から学んだ保健所の役割	草津保健所

○第3会場 甲賀保健所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
6	感染症	甲賀圏域社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の現状と課題	甲賀健康福祉事務所
7	感染症	新型コロナウイルス感染症が及ぼす甲賀圏域入院支援における医療機関と地域の連携への影響	甲賀健康福祉事務所

○第4会場 東近江保健所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
8	環境保健	下水およびし尿からの新型コロナウイルスの検出手法の検証	株式会社 日吉
9	高齢者保健福祉	東近江圏域における入院支援に新型コロナウイルス感染症が与えた影響と取り組みについて	東近江健康福祉事務所

○第5会場は視聴のみ

○第6会場 長浜保健所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
10	感染症	既存ネットワークを生かした高齢者支援・障がい者支援関係者に対する新型コロナウイルス感染症に関する体系的研修の実践	湖北健康福祉事務所

○第7会場 長浜保健所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
11	高齢者保健 福祉	介護保険施設・事業所に対する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策支援	高島保健所

○第8会場 その他

演題番号	演題分類	演題名	所属名
12	健康教育・健康づくり	コロナ禍における健康フェアなどの展望	下田薬局

○紙上发表

演題番号	演題分類	演題名	所属名
13	成人保健	子育て世代の子宮頸がん検診継続受診の現状と課題	東近江市東近江保健センター
14	環境保健	滋賀県における光化学オキシダントの現状について	琵琶湖環境科学研究センター
15	環境保健	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う滋賀県の 大気汚染状況の変化について	琵琶湖環境科学研究センター
16	臨床検査	滋賀県における病理部門精度管理の最近の動向 －滋賀県臨床検査技師会精度管理事業より－	公益社団法人滋賀県臨床検査技師会 精度管理病理部会
17	感染症	新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県下の保育士等の対応の実態調査	びわこ学院大学教育福祉学部 子ども学科
18	成人保健	胃部X線検査所見と生活習慣との関連性	一般財団法人近畿健康管理センター 滋賀事業部
19	環境保健	バスタ液剤を用いたオオバナミズキンバイの駆除について（現地試験検証）	株式会社 日吉
20	環境保健	バスタ液剤を用いたナガエツルノゲイトウ駆除手法の検討	株式会社 日吉

21	高齢者保健 福祉	基本チェックリストから見えてきた自立支援の視点について	守山市地域包括支援センター
22	高齢者保健 福祉	認知症家族介護者訪問事業から見えてきたこと	守山市地域包括支援センター
23	歯科保健	5歳児保護者の歯科に関する意識・行動から見えるう蝕予防のための多機関との目標共有について	高島市健康推進課
24	母子保健	産後の母親が望む支援から見えてきた必要な支援～産後ケア事業の実践報告より～	湖南省健康福祉部健康政策課
25	成人保健	大腸がん検診精密検査未受診理由の考察～精度管理適正化に向けて～	湖南省健康政策課
26	健康教育・健康づくり	コロナ禍における健診現場での予防対策について	滋賀県健康づくり財団
27	食品衛生	便及び食品からの E. albertii の検出について	大津市保健所
28	歯科保健	「おいきいきチェックシート」を活用した高齢者歯科保健推進のための取組評価	東近江健康福祉事務所
29	精神保健福祉	自殺未遂者支援の現状と課題について～事例の振り返りから～	近江八幡市子ども健康部健康推進課

表2 第51回滋賀県公衆衛生学会演題分類別演題一覧

演題分類	演題数	演題分類	演題数
母子保健	1	食品衛生	1
歯科保健	3	環境保健	5
高齢者保健福祉	6	健康教育・健康づくり	2
感染症	6	成人保健	3
臨床検査	2		
合計			29

①公衆衛生事業功労者表彰

多年にわたり公衆衛生事業に取り組み、地域住民の保健衛生活動や保健衛生知識の普及活動等に尽力され、健康づくりに多大な功労のあった個人と団体を滋賀県公衆衛生学会において表彰した。

受賞者 知事表彰 (個人) 木村真奈美 氏 ほか5名  
(団体) 一般社団法人彦根薬剤師会  
理事長表彰 (個人) 岩井義隆 氏 ほか10名  
(団体) 湖南省健康推進員協議会

表 3 令和 2 年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（知事表彰）

（個人）

（敬称省略・五十音順）

氏名	職種	表彰事由
木村真奈美	看護師	平成9年4月に守山市立守山市民病院（現 済生会守山市民病院）に入職以来、院内の看護はもとより湖南圏域における地域医療の発展に向け、特に地域との連携強化に尽力された。また、看護部長着任後は管理者という立場で病院運営、法人活動、地域医療の推進を通じて公衆衛生の向上に大きく貢献された。
久西睦人	柔道整復師	平成13年10月に大津市南郷に「くにし整骨院」を開業され、以来19年以上の長きにわたり、柔道整復術を駆使した健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力され、地域住民から厚い信頼を得られた。また、平成19年から滋賀県柔道整復師会の理事を14年以上勤められ、現在は、保険部長として滋賀県の療養費の受領委任制度の充実発展に大きく貢献されている。
重永博	医師	永年にわたり勤務医および開業医として、地域住民の疾病予防と健康管理に努めるとともに、大津市医師会の役員と滋賀県医師会の役員を兼任され、医師会活動を通じた保健・医療・福祉の充実に献身的な努力を続けてこられた。平成24年度からは滋賀県医師会の広報担当理事として、医師会会報の作成を統括し、会員への情報提供を通じて医療の質の向上に大きく貢献された。
中村忠	歯科医師	昭和 61 年 6 月に中村歯科医院を開業され、以来今日まで歯科医療に専念し、地域歯科医療の発展及び公衆衛生事業の推進に努められた。この間、滋賀県歯科医師会理事・常務理事、同湖北支部常務理事・専務理事等多くの要職に就かれ、公衆衛生事業の推進に尽力するとともに県民の健康な歯の保持増進及び歯科保健水準の向上並びに口腔衛生思想の普及啓発に貢献した。
仁平宏	浄化槽検査員	昭和 59 年から 36 年余りにわたり、社団法人滋賀県浄化槽協会（平成 25 年 4 月から現在の公益社団法人滋賀県生活環境事業協会に改称）の検査員として、豊富な知識と経験に基づいて、浄化槽の法定検査および適正管理の普及啓発等に尽力された。浄化槽事業一筋に精励され、公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上に貢献された。
守安岳征	臨床検査技師	平成3年より大津赤十字病院病理部に勤務され、約30年に渡って地域住民の健康保持、増進や公衆衛生の発展に貢献された。その間、学会発表、論文投稿など自らの研鑽はもとより、病理部技師のリーダーとして病理部の機能充実と整備を図るとともに、新しい検査技術の開発と導入に尽力された。また、平成24年からは滋賀県臨床検査技師会の理事・副会長を歴任され、会員の学術向上や精度管理事業活動および地域保健や地域医療の発展に寄与された。

（団体）

団体名	表彰事由
一般社団法人彦根薬剤師会	彦根市が昭和 56 年に彦根休日急病診療所を設置して以来、39 年余りの長きにわたり、多数の会員が診療所において調剤と服薬指導業務を担ってこられた。この間、医療福祉研究会等を立ち上げ、薬剤師が地域のチーム医療で多職種と的確に連携できるよう、在宅医療を中心とした知識と技術を習得するための研修を実施したり、地域で開催される在宅医療や認知症の会議にも積極的に参加され、知識、技術のレベルアップに尽力されている。また、令和元年 11 月には一般社団法人湖北薬剤師会と北びわこ薬剤師連合会を設立され、健康公開講座を開催するなど、地域住民の公衆衛生の意識向上に貢献された。

表 4 令和 2 年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰）

（個人）

（敬称省略・五十音順）

氏名	職種	表彰事由
岩井義隆	医師	平成20年2月に公立甲賀病院に就業以来、幅広い知識と豊富な経験を活かし小児科医師として業務に精励されている。平成20年2月の入職時から甲賀市・湖南市の乳幼児健診を担い、当院はもとより地元企業の産業医として健康保持や労災防止等、地域の公衆衛生向上に貢献されている。
岩越和子	保健師	長年にわたり、保健師として母子保健、地域住民の健康づくり活動、介護予防など保健衛生全般にわたり尽力され、母子保健においては市民活動として育児サークルを多数排出し、当事者団体としての活動を具現化し組織化を図るとともに、特に、平成12年度の在宅介護支援センター運営から、地域包括支援センターの設置・運営及び高齢者保健・福祉には通算17年間携わり、地域包括ケアシステムの構築を推進された。また、長年公衆衛生活動に従事した保健師としての知識や経験をふまえ、国の検討委員への就任、県内保健師を対象とした研修の講師を務めるなど保健師の人材育成にも尽力された。



木村昌之	柔道整復師	平成15年4月から平成17年3月まで滋賀県柔道整復師会の理事を務め、広報部長として主要事業である広報誌の編集等を指揮し、その後、平成19年4月から現在に至るまで監事の職を7期(14年)にわたり務め、広く本会の事業と会計を監査してこられた。柔道整復師の技術を生かし、地域で開催される各種スポーツ大会等における救護トレーナーや接骨相談のボランティア活動等、公衆衛生事業に積極的に取り組み、地域住民から厚い信頼を得られている。
柴田健治	理学療法士	永年にわたり、大津赤十字病院にて人道・博愛の精神の基、主に急性期の理学療法全般に従事し、県民の全人的復権に携わってこられた。滋賀県理学療法士会においても長年理事を務められ、近年は副会長として公益的な事業の推進と事務局業務を中心に取り組まれている。また、滋賀県公衆衛生学会の実行委員歴も長く、滋賀県の公衆衛生の発展に貢献されている。
清水祥子	臨床検査技師	検査部生理機能検査業務に就いてから、自身の整理機能検査全ての分野において幅広い知識の習得、技術の向上に努められ、検査の進歩に伴い常にアップデートし診療に役立つ検査を推し進めてこられた。不整脈の解析、心エコー検査領域では心カテ、アブレーション、心臓手術、TAVI等の前後検査で診療科により診療に役立つ多くの情報を提供されてきた。同時に新人技師の育成に努められ、また、地域医療への貢献や院外技師のスキルアップ、検査法の標準化などの事業を行ってこられた。
高田克重	歯科医師	平成7年4月から高田歯科医院に勤務以来今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展及び公衆衛生事業の推進に努められた。この間、滋賀県歯科医師会理事、同常務理事、監事、同湖東支部理事、湖東歯科医師会常務理事等多くの要職に就き公衆衛生事業の推進に尽力するとともに県民の健康な歯の保持増進及び歯科保健水準の向上並びに口腔衛生思想の普及啓発に貢献された。
内藤紀代子	助産師	滋賀県助産師会に26年9ヶ月所属しながら、滋賀県下の医療施設や教育機関で助産師業務や教育を行い、母子保健や公衆衛生の向上に努められてきた。周産期医療施設内等での業務に加え、母子の健康を支えるボランティア活動にも長く携わってこられた。性教育では、対象に応じた講演内容を提供され、性の特徴である生殖性や連帯性などを中心に、人間の持つ性の意義の最大の特色であり心の結びつきを最重要視した内容を講演されている。また、活動の範囲は県下の小、中、高校での性に関する教育やプレコンセクショナルケアの講演活動を行い、性と生殖に関する健康を高める啓発活動に尽力されている。
鯉江賢二	臨床検査技師 臨床工学技士	湖南地域職業訓練センターで実施された酸素欠乏硫化水素危険作業主任者技能試験及び滋賀県自動車会館で実施された低圧電気取扱特別教育における心肺蘇生法の実技講師及び検定を担当されたほか、県内各地域で開催される日本赤十字社救急法救急員養成講習会及び一般講習会における心肺蘇生法の実技講師としても活躍されている。また、近江八幡市健康フェスタ2017の実務委員として血圧脈波エコー検査の担当のほか、平成30年度全国検査と健康展の実務委員として頸動脈エコーの検査を担当するなど地域の健康づくりに貢献されている。
西島節子	医師	永年にわたり勤務医として、地域住民の疾病予防と健康管理に尽力し地域の急性期医療を担う病院において、今日に至るまで小児科医療に貢献されている。平成27年から滋賀県医師会の理事を務め、小児救急医療対策委員会の委員長および救急災害医療対策委員会委員、滋賀県医師会母体保護法指定医師審査委員会委員として医師会事業等に尽力し、以て地域医療・福祉に貢献された。
堀井好子	健康推進員	永年にわたり、地域の健康づくりのリーダーとして、市民の食生活改善をはじめ、健康づくり活動に積極的に取り組み、市民の健康意識の向上に寄与されてきた。また、現在も地域に根付いた健康推進活動を実践し、後輩の育成や指導に取り組まれている。
門前一	診療放射線技師	診療放射線技師として20年間に亘り、画像診断・がん治療・成人病予防に関わる放射線画像検査、放射線治療などの診療放射線業務に従事し、地域住民の健康と保健衛生の向上に多く貢献された。また、2005年より滋賀県放射線技師会国際交流事業部員として、主にベトナム、韓国を対象に国際交流活動を行うとともに、現地で放射線に関する知識等啓発活動を行い、医療における放射線防護の知識を世界に広め、国内外において公衆衛生の向上に多大な貢献をされた。

(団体)

団体名	事業継続年数	代表者名	表彰事由
湖南省健康推進員協議会	15年	会長 川村八重子	食育および健康づくり活動では、小学校区単位で健康課題を把握し、地域に根付いた地道な活動を実施している。各地域での健康料理教室、まちづくりセンター等でのまつりや街頭での啓発活動、小中学校での食育教室など子どもから高齢者まで幅広い対象者への健康づくりに寄与している。

※事業継続年数は、R3.2.18現在

### ③第50回滋賀県公衆衛生学会奨励賞表彰

本県の公衆衛生の向上に資することを目的として、意欲的・先駆的かつ継続的に取り組んでいる調査研究を奨励し、滋賀県公衆衛生学会の席上において表彰した。

受賞者 ○演題分類 歯科保健

- 演題名 働き盛り世代における年代や定期的歯科健診受診による歯科保健行動等の違い～働き世代の歯科保健実態調査より～
- 研究発表者 大槻三美、松浦さゆり、黒橋真奈美、荒木勇雄(滋賀県南部健康福祉事務所)
- 演題分類 高齢者保健福祉
- 演題名 地域におけるアドバンス・ケア・プランニング普及への取り組み
- 研究発表者 島川智香、谷亜悠未、川越麻衣、中西稔、岡村美穂、松永祐子(草津市長寿いきがい課)、山根恵理子(草津栗東医師会)

## (6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業

生活習慣病予防のための行動変容に確実につながる保健指導を展開することができるよう「標準的な健診・保健指導プログラム」をふまえた保健指導を効果的に推進できる人材を養成することを目的とし、研修を実施した。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、感染拡大防止対策として、フィジカルディスタンスを確保するため、受講対象者を初任者及び第3期プログラム研修未受講者とし、基礎編のみを3日間実施した。なお、修了者全員に修了証を発行した。

○基礎編のみ

### 【1日目】

- 日時 令和2年7月30日(木) 10:00～17:00
- 場所 大津合同庁舎
- 参加者数 55名(保健師31名、管理栄養士22名、看護師2名)

### 【2日目】

- 日時 令和2年8月5日(水) 10:00～16:40
- 場所 大津合同庁舎
- 参加者数 52名(保健師28名、管理栄養士22名、看護師2名)

### 【3日目】

- 日時 令和2年8月27日(木) 10:00～16:00
- 場所 ニプロホール
- 参加者数 49名(保健師27名、管理栄養士20名、看護師2名)
- ・3日間を通じての実参加者数  
56名(保健師32名、管理栄養士22名、看護師2名)
  - ・修了者数  
49名(保健師27名、管理栄養士20名、看護師2名)

## (7) 健診(検診)相談事業

健診(検診)の受診等に関する疑問や相談、さらには検査結果等を踏まえた対応など受診者の適切な判断や不安等の解消のため、コメディカルスタッフが受診者に分かりやすく説明する相談窓口を設置し、電話対応を行った。

電話番号 077-536-5218(平日9:00～17:00)

電話対応件数 14件

内訳	健診(検診)受診の結果に関すること	12 件
	健診(検診)受診後の症状に関すること	1 件
	健康づくりに関すること	1 件

---

---

## 2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための 健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

---

---

(1) 特定健診・特定保健指導事業

(2) 結核健診事業

(3) がん検診事業

(4) 検査事業

(5) 健診結果分析評価事業

(6) 健康づくり事業

## 2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

### (1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業

県民の疾病予防と健康づくりのため、巡回健診や特定健診を市町・保険組合や保険者の依頼に応じて実施した。

また、特定健診結果から生活習慣病（特に内臓脂肪症候群）のリスクが高く、生活習慣の改善により高い予防効果が期待できる受診者に対して、動機づけ支援や積極的支援などの保健指導を通じ、生活習慣を見直すサポートを実施した。

#### ①一般健診事業

健康増進法、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、感染症法、学校保健安全法、労働安全衛生法、共済組合法等に基づき、市町や事業所が実施する健診を受託し、県民の疾病の発見、予防に資する保健サービスを提供した。

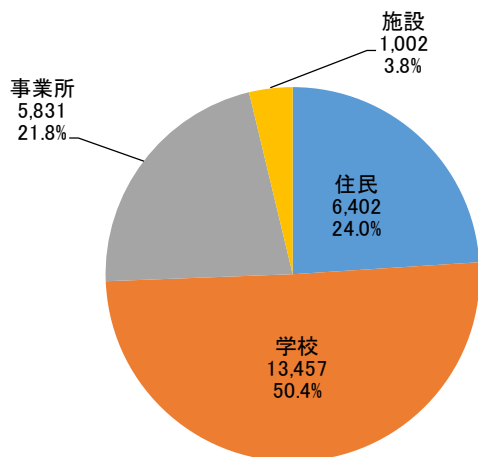
令和2年度一般健診実績者数は26,692人であり、前年度実績者数と比べ6,369人の増減であった。

また、そのうち特定健診受診者が5,777人、後期高齢者健診受診者が699人であった。  
(但し、肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者を除く)

表1 一般健診実績表(特定検診・定期検診等含む)実施状況(団体別)  
※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者数除く

団体区分	一般健診		特定健診(再掲)		後期高齢(再掲)	
	団体数	実施人数	団体数	実施人数	団体数	実施人数
住 民	9	6,402	9	4,473	4	699
学 校	130	13,457	0	0	0	0
事 業 所	172	5,831	2	1,304	0	0
施 設	18	1,002	0	0	0	0
合 計	329	26,692	11	5,777	4	699

図1 一般健診(特定健診・定期健診等含む)実施状況(団体区分別)



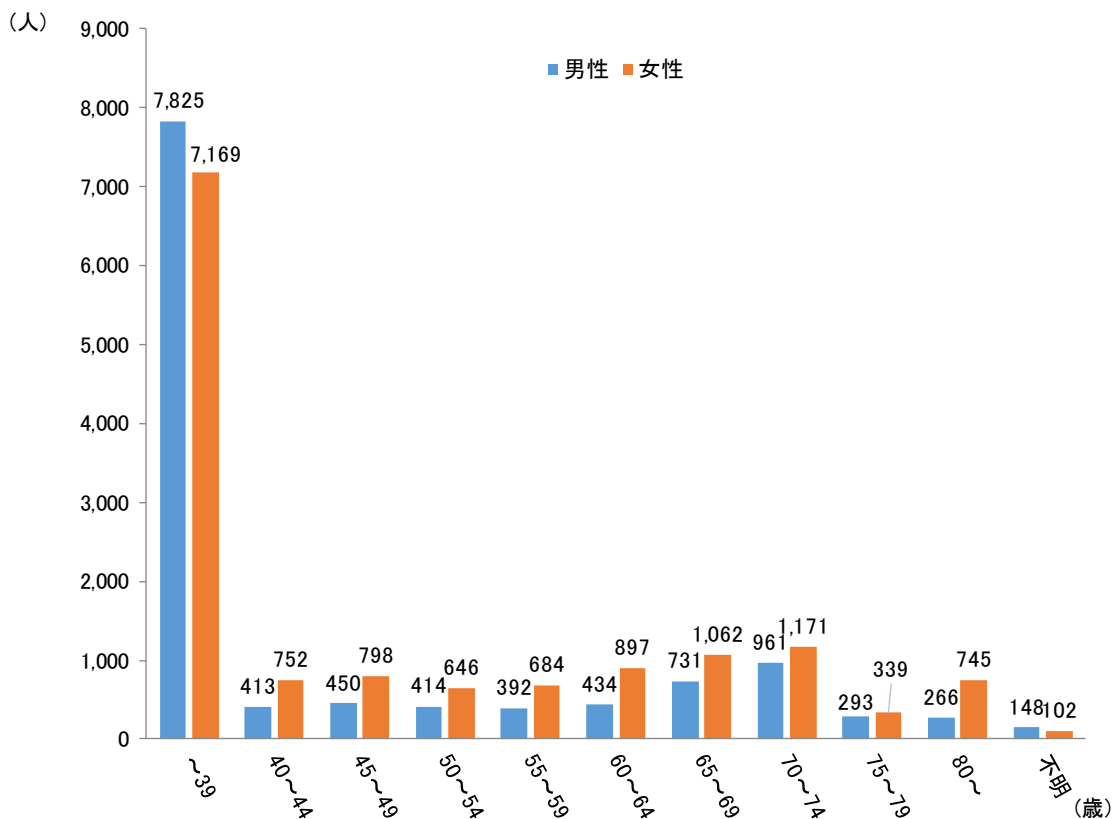
329団体26,692人に実施。うち、特定健診は11団体5,777人、後期高齢は4団体699人であった。

表2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）  
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、年齢性別不明を除く

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	不明	合計
男性	7,825	413	450	414	392	434	731	961	293	266	148	12,327
女性	7,169	752	798	646	684	897	1,062	1,171	339	745	102	14,365
合計	14,994	1,165	1,248	1,060	1,076	1,331	1,793	2,132	632	1,011	250	26,692

図2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）



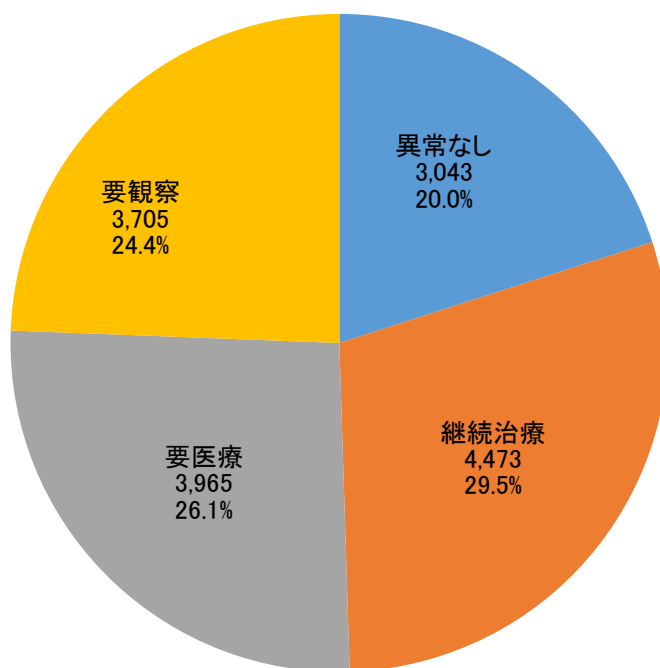
性別では女性が男性より多く、年齢別では男女ともに39歳以下、70～74歳、65～69歳の順に多かった。

表3 一般健診実績表(特定健診・後期高齢・定期健診等含む)実施状況(団体・指導区分別)  
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、指導区分不明を除く

(人)

市町名、事業所名		受診者数	指導区分			
			異常なし	継続治療	要医療	要観察
市町		5,803	192	2,590	1,898	1,123
	日野町	465	26	188	125	126
	竜王町	416	25	173	115	103
	彦根市	0	0	0	0	0
	豊郷町	273	6	127	90	50
	甲良町	282	5	151	88	38
	多賀町	156	3	83	38	32
	東近江市	2,310	70	1,006	816	418
	米原市	1,901	57	862	626	356
事業所等		9,383	2,851	1,883	2,067	2,582
総数		15,186	3,043	4,473	3,965	3,705

図3 一般健診(特定健診・定期健診等含む)実施状況(指導区分別)



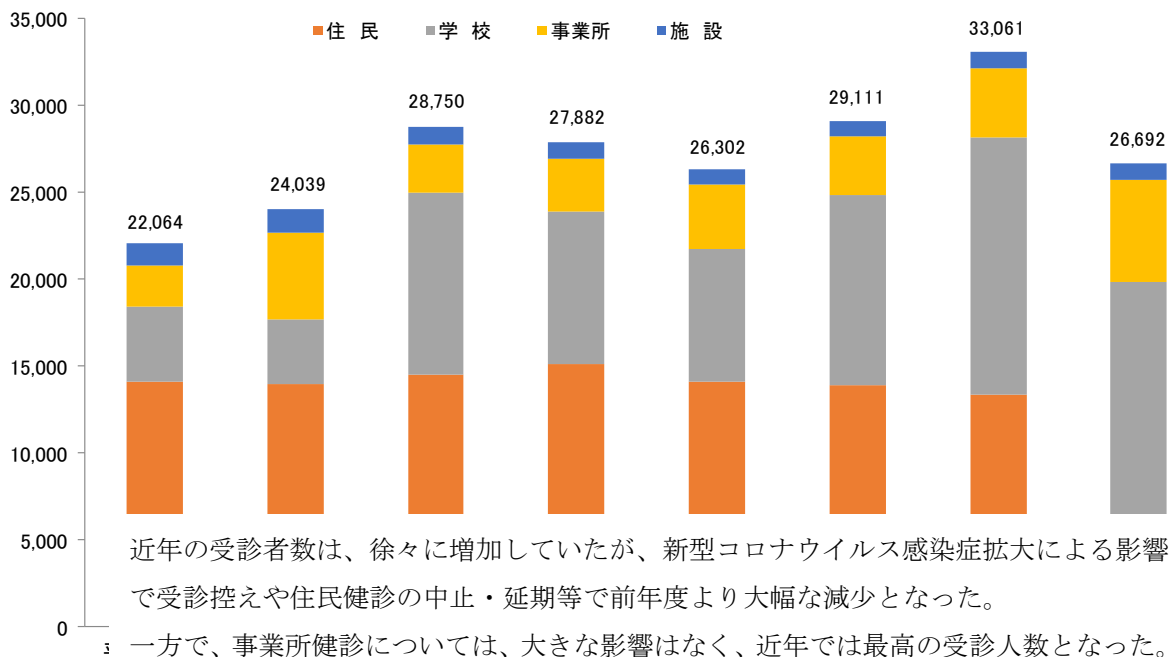
受診総数15,186人のうち、要医療(要受診)と要観察で約半分を占めている。

表4 一般健診実施状況の経年比較

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	14,122	6	13,956	8	14,487	10	15,093	9	14,077	12	13,926	10	13,370	11	6,402	9
学 校	4,278	5	3,739	5	10,475	26	8,837	26	7,636	28	10,934	83	14,752	118	13,457	130
事 業 所	2,383	102	5,017	102	2,808	93	2,996	97	3,708	111	3,332	86	4,005	120	5,831	172
施 設	1,281	20	1,327	20	980	16	956	16	881	15	919	16	934	16	1,002	18
合 計	22,064	133	24,039	135	28,750	145	27,882	148	26,302	166	29,111	195	33,061	265	26,692	329

図4 一般健診実施状況の経年比較

(人)



近年の受診者数は、徐々に増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で受診控えや住民健診の中止・延期等で前年度より大幅な減少となった。

一方で、事業所健診については、大きな影響はなく、近年では最高の受診人数となった。

(単位)人

近年の受診者数は、徐々に増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により住民健診の中止や延期等で令和2年度は、前年度より大幅な減少となった。

一方で、事業所健診については大きな影響はなく、近年では最高の受診人数となった。



## ②施設内健診事業

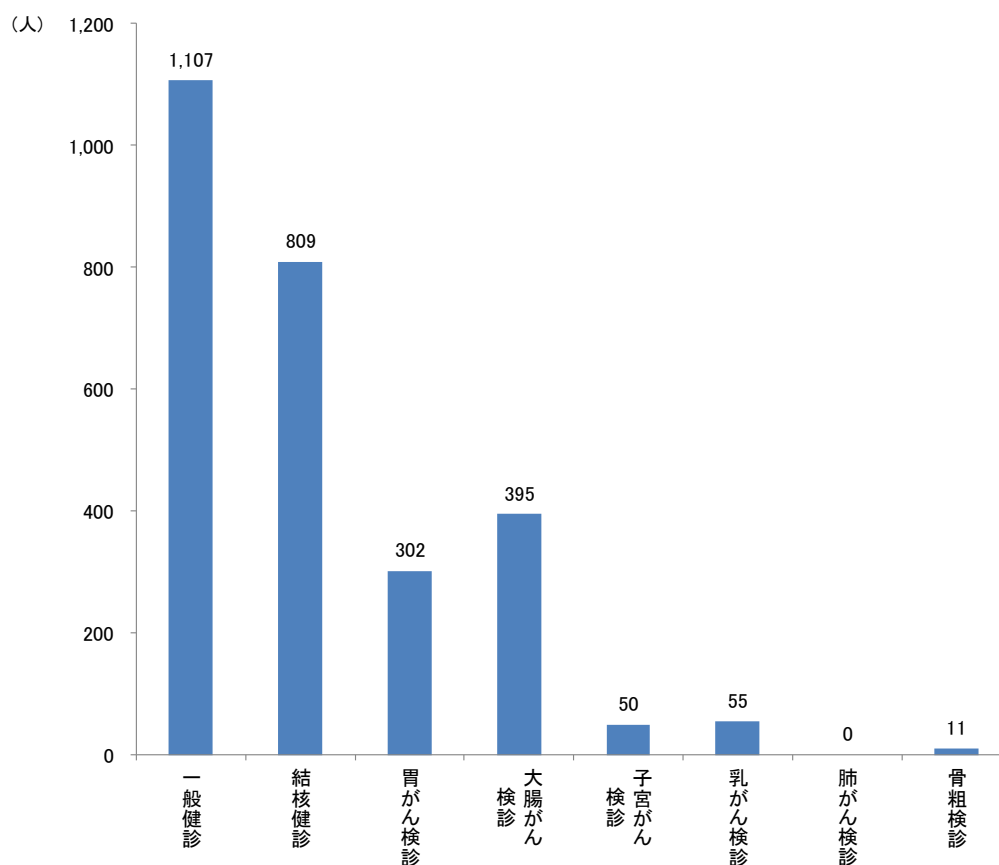
県民の健康づくりの一助となることを目的として、財団施設内において、全国健康保険協会に基づく生活習慣病予防健診、高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査および特定保健指導、労働安全衛生法に基づく健康診断・検査を実施した。また、今年度より既存の健診メニューに加え、腫瘍マーカー等の血液検査を追加実施するとともに、女性がん検診日を設け、検診を実施した。令和2年度施設内健診実績者数は1,107人であった。

また、県内経済団体からの依頼を受け、ビジネス目的による海外渡航者向けの新型コロナウイルスPCR検査業務を開始し、県内企業等から申し込みを受けて検査を実施し、陰性証明書を発行した。令和2年度PCR検査実績者数は145人（19か国）であった。

表1 施設内健診実施状況（検診別内訳）（再掲）

項目	一般健診	結核健診	胃がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	肺がん検診	骨粗検診
受診人数	1,107	809	302	395	50	55	0	11

図1 施設内健診実施状況（検診別内訳）

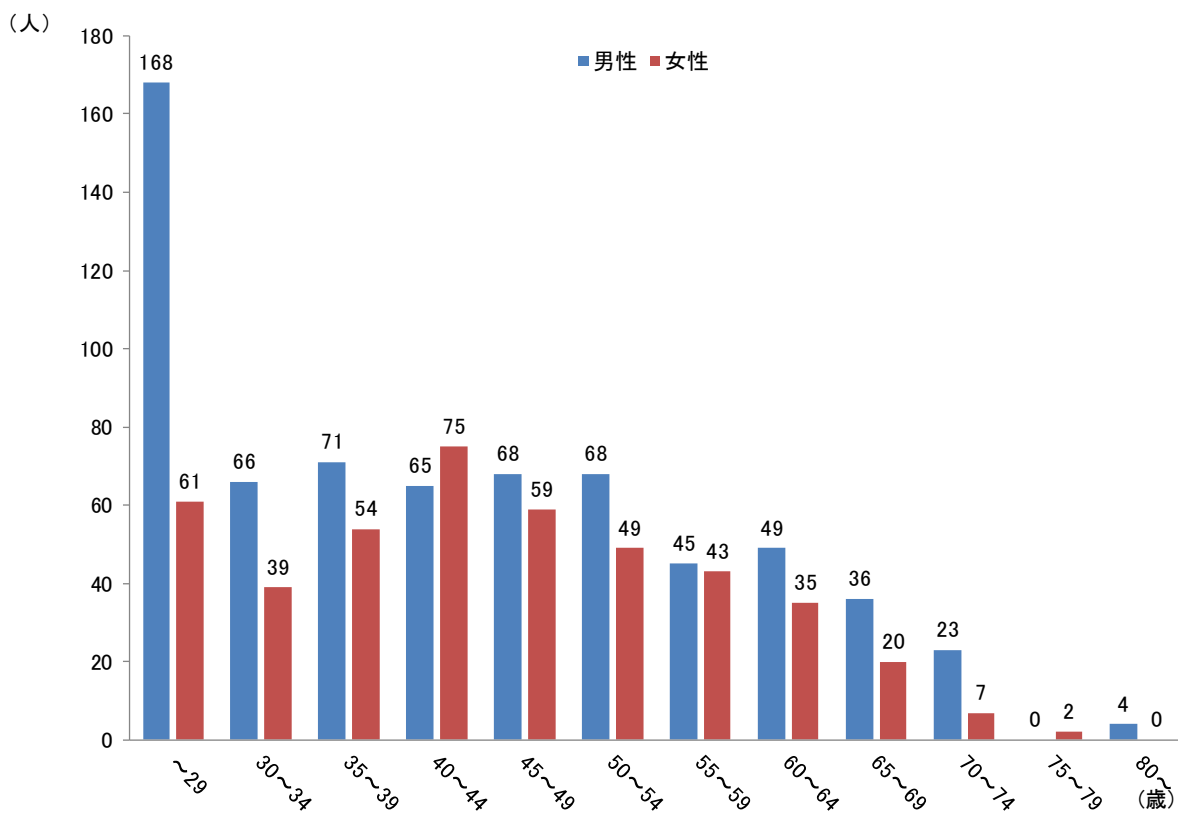


施設内健診での項目は、一般健診、結核健診、大腸がん検診の順に多かった。

表2 施設内一般健診健診性別年齢別実績表（一般健診）

年齢階層	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	168	66	71	65	68	68	45	49	36	23	0	4	663
女性	61	39	54	75	59	49	43	35	20	7	2	0	444
男女計	229	105	125	140	127	117	88	84	56	30	2	4	1,107

図2 施設内健診性別年齢別実績（一般健診）



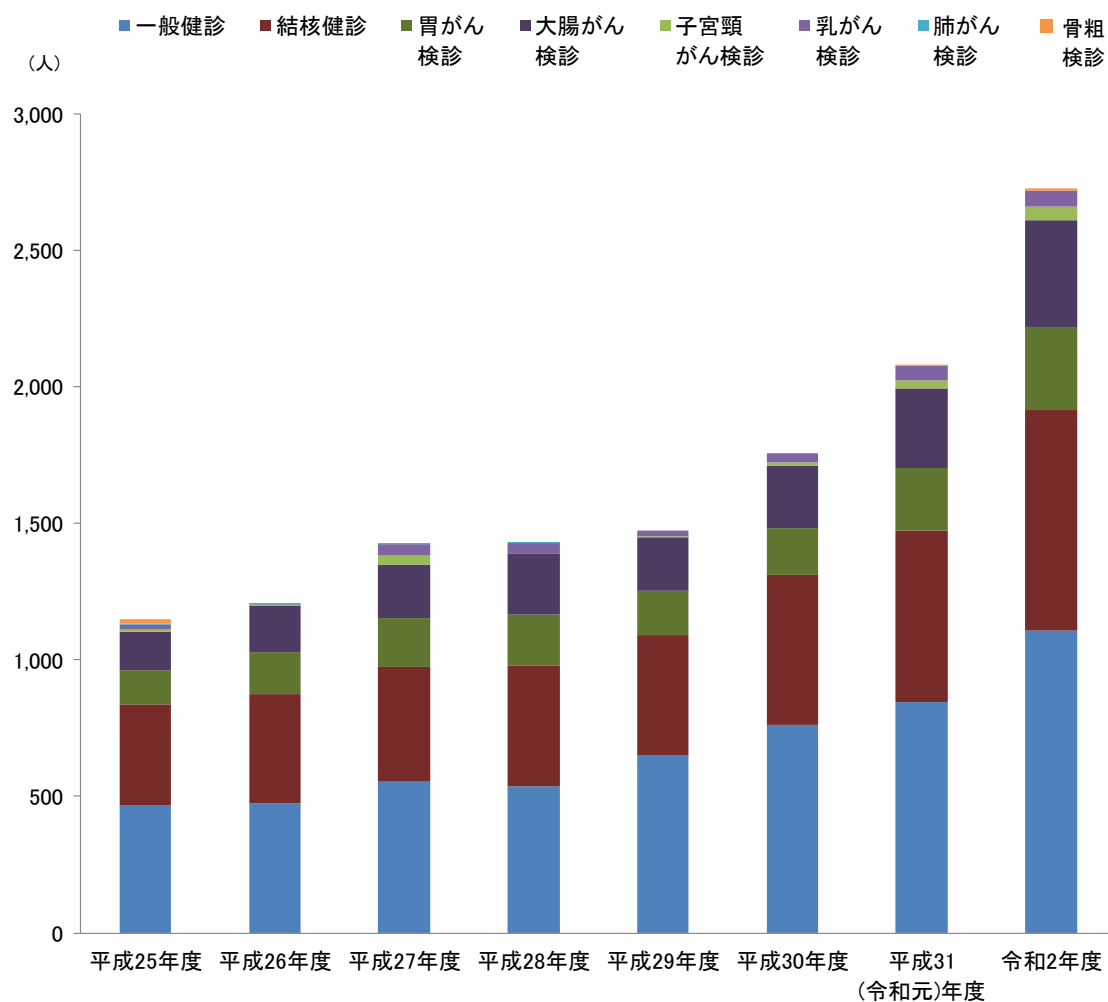
性別では、男性が女性より多く、年齢別では男性で29歳以下、35～39歳、45～54歳、30～34歳の順に多く、女性が40～44歳、29歳以下、45～49歳の順に多かった。

表3 施設内健診実施状況の経年比較

(人)

年度	一般健診	結核健診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮頸 がん検診	乳がん 検診	肺がん 検診	骨粗検診
平成25年度	468	368	125	144	5	18	5	15
平成26年度	475	401	152	171	3	3	4	0
平成27年度	552	422	178	198	31	42	7	0
平成28年度	536	442	187	224	4	34	2	0
平成29年度	650	443	160	196	4	20	0	0
平成30年度	761	549	174	227	14	34	0	0
平成31 (令和元)年度	844	630	229	292	28	54	0	1
令和2年度	1,107	809	302	395	50	55	0	11

図3 施設内健診実施状況の経年比較



令和2年度は、肺がん検診以外すべての検診で受診者数が増加した。

### ③特定保健指導事業

巡回健診や施設内健診を通じて特定健診に基づく保健サービスを実施した。また、特定健診結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人達に対して、動機づけ支援や積極的支援など保健指導を通じ、生活習慣病を見直すサポートを実施した。

令和2年度特定保健指導実績者数は99人であった。また、そのうち令和2年度支援者は、積極的支援が25人、動機づけ支援が44人で、過年度継続支援者は積極的支援が11人、動機づけ支援が19人であった。

### ④その他保健指導事業

県民の健康づくりのため、委託を受けた市町や企業等の求めに応じ、健康づくりに関する講演や保健指導等を実施した。

#### 守山市慢性腎臓病重症化予防事業

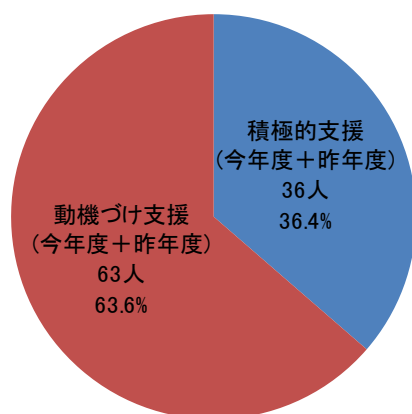
守山市より委託を受け、対象者の重症化を防ぎ、人工透析への移行を遅らせるため、保健指導を実施した。

- ・面接予定者11名に対し、面接実施者11名
- ・電話支援 のべ55回

表1 特定保健指導実施状況（指導区分別）

指導区分	受診者数
積極的支援	25人
動機づけ支援	44人
過年度積極的支援	11人
過年度動機づけ支援	19人
合計	99人

図1：特定保健指導実施状況（指導区分別）



動機づけ支援が65.6%、積極的支援が34.4%であった。

## (2) 結核健診事業

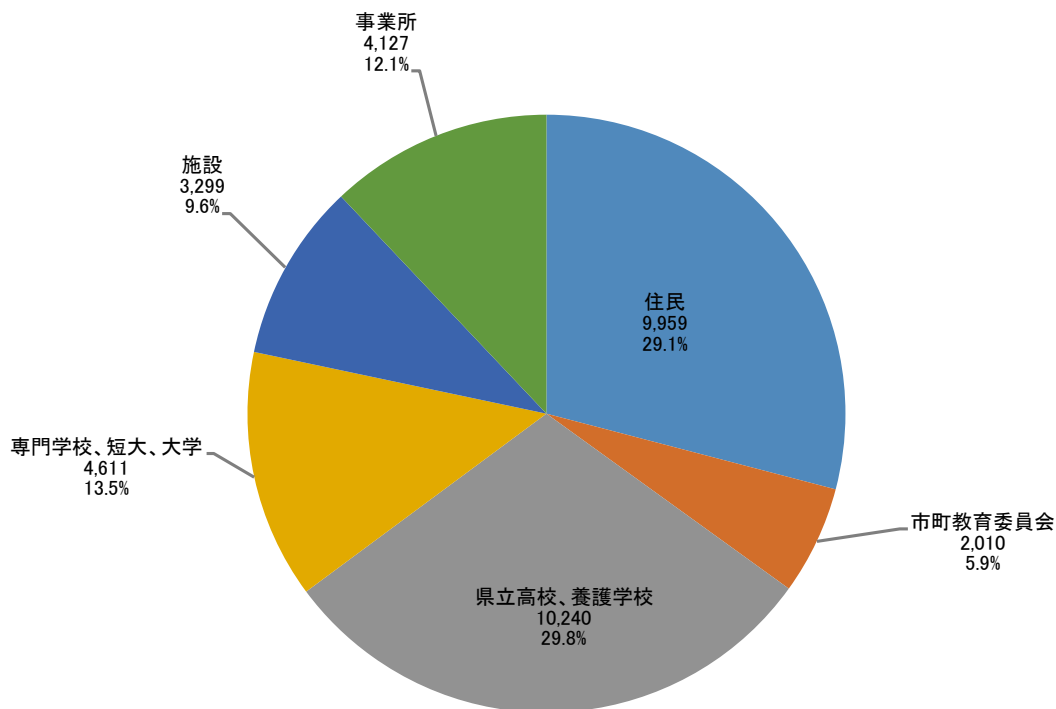
結核罹患率は漸減傾向にあるが、発病者に占める高齢者の割合は増加傾向にあることから、結核の早期発見と正しい知識の普及・啓発を図るため、胸部エックス線デジタル撮影により結核健診を実施した。また、特別養護老人ホーム等の施設健診においては、ストレッチャー、車いすでの撮影が可能なリフト検診車を配車し、受診者の状況に対応した健診を実施した。

令和2年度結核健診実績者数（肺がん検診同時実施分含む）は34,246人であり、前年度実績者数と比べ5,663人の減であった。

表1 結核健診実施状況（団体区分別）

団体区分	団体数	実施人数	区分								読影なし
			精検不要	肺活動性	核非活動性	循環器疾患	要その他	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	
住 民	10	9,959	2,826	0	67	13	13	195	4	6,841	0
市町教育委員会	86	2,010	273	0	6	2	0	9	0	1,720	0
県立高校、養護学校	69	10,240	659	0	7	3	18	3	0	9,550	0
専門学校、短大、大学	10	4,611	320	0	9	0	1	1		4,280	0
施 設	66	3,299	1,138	0	107	3	5	71	13	1,830	132
事 業 所	173	4,127	697	0	16	1	6	22	0	3,348	37
合計	414	34,246	5,913	0	212	22	43	301	17	27,569	169

図1 結核健診実施状況（団体区分別）



414団体34,246人が受診し、うち、精検不要・異常なし・読影なしを除くと、595人に所見が見られた。

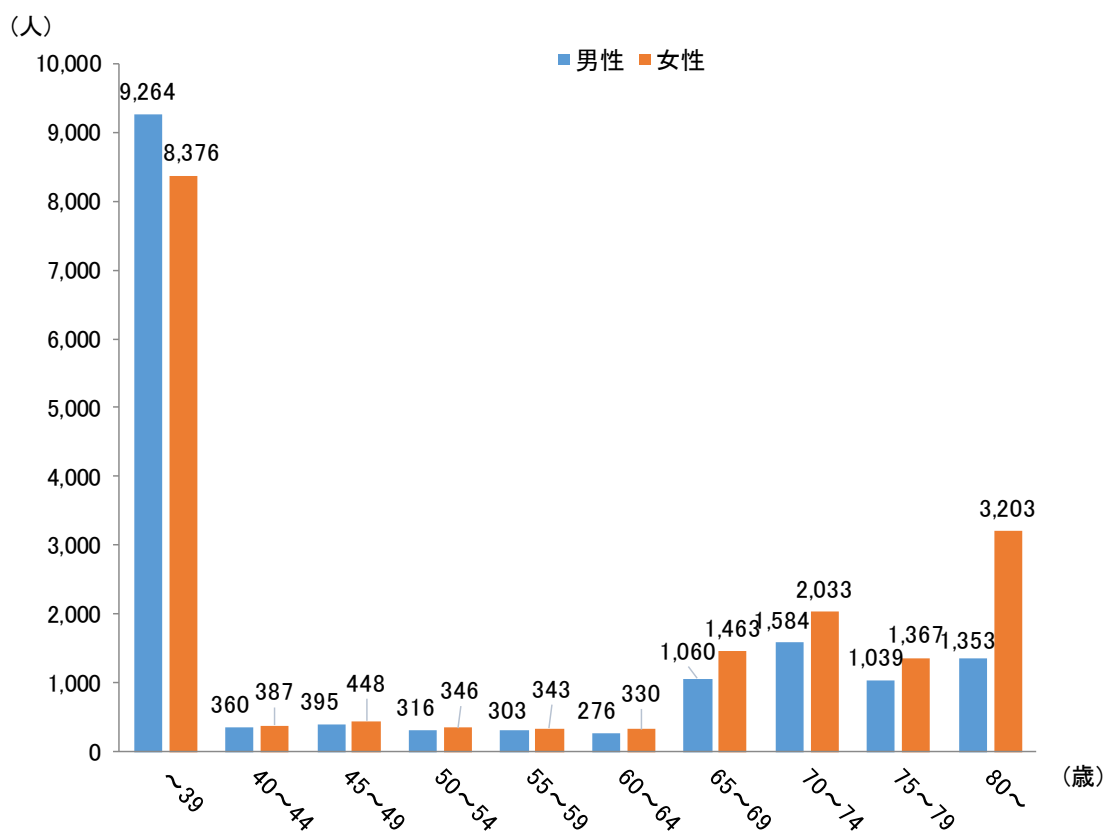
表2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	9,264	360	395	316	303	276	1,060	1,584	1,039	1,353	15,950
女性	8,376	387	448	346	343	330	1,463	2,033	1,367	3,203	18,296
合計	17,640	747	843	662	646	606	2,523	3,617	2,406	4,556	34,246

(人)

※撮影のみ、性別不明を除く

図2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

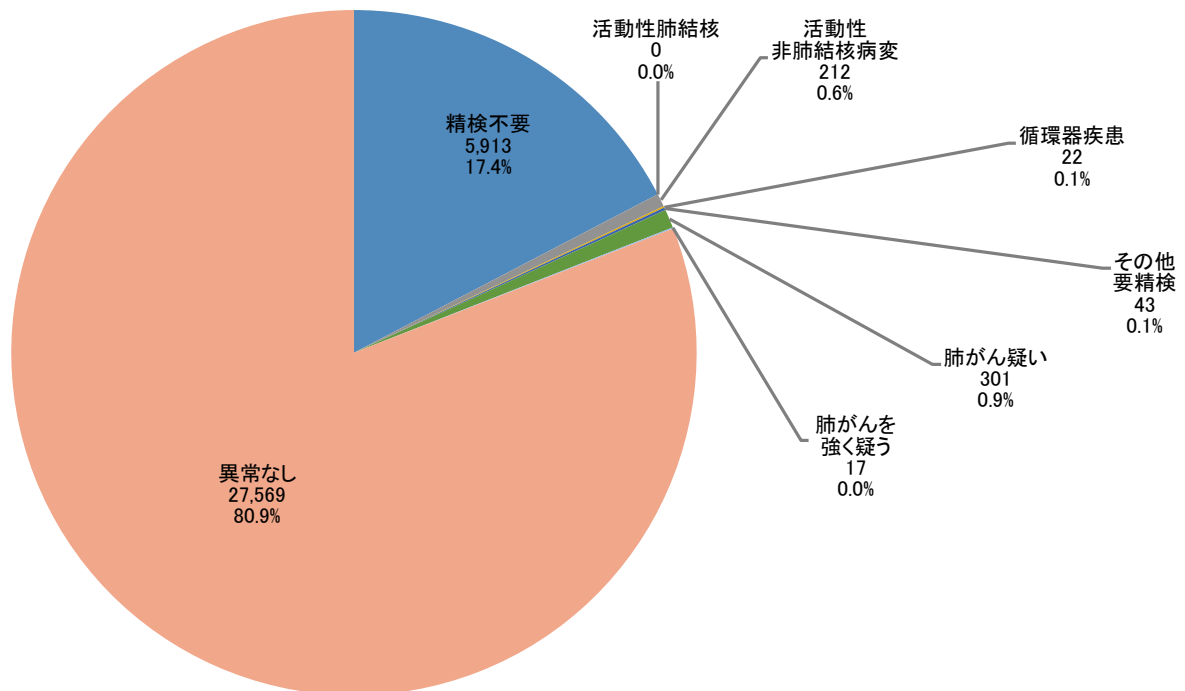


性別では女性が男性より約2,350人多く、年齢別では男性で39歳以下、70～74歳、80歳以上の順に多く、女性が39歳以下、80歳以上、70～74歳の順に多かった。

表3 結核健診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	活動性肺結核	非活動性肺結核病変	循環器疾患	要精検その他	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたりの受診人数
市町	143	9,959	2,825	0	67	13	13	195	4	6,842	0	69.64
栗東市	10	331	82	0	0	0	0	7	0	242	0	33.10
日野町	14	1,690	398	0	10	2	3	28	1	1,248	0	120.71
竜王町	5	241	64	0	1	0	0	3	0	173	0	48.20
彦根市	10	222	71	0	2	0	0	3	0	146	0	22.20
豊郷町	9	533	188	0	3	1	0	14	0	327	0	59.22
甲良町	8	706	251	0	7	0	2	14	0	432	0	88.25
多賀町	8	657	211	0	3	0	1	9	0	433	0	82.13
東近江市	37	1,920	607	0	17	2	2	41	1	1,250	0	51.89
米原市	35	1,800	439	0	15	5	2	37	0	1,302	0	51.43
愛荘町	7	1,859	514	0	9	3	3	39	2	1,289	0	265.57
市町教育委員会	7	2,010	273	0	6	2	0	9	0	1,720	0	287.14
県立高校・養護学校	115	10,237	659	0	7	3	18	3	0	9,547	0	89.02
専門学校・短大・大学	40	4,611	320	0	9	0	1	1		4,280	0	115.28
施設	69	3,301	1,140	0	106	3	5	71	13	1,831	132	47.84
事業所	506	4,128	696	0	17	1	6	22	0	3,349	37	8.16
総数	880	34,246	5,913	0	212	22	43	301	17	27,569	169	38.92

図3 結核健診実施状況（団体別詳細）

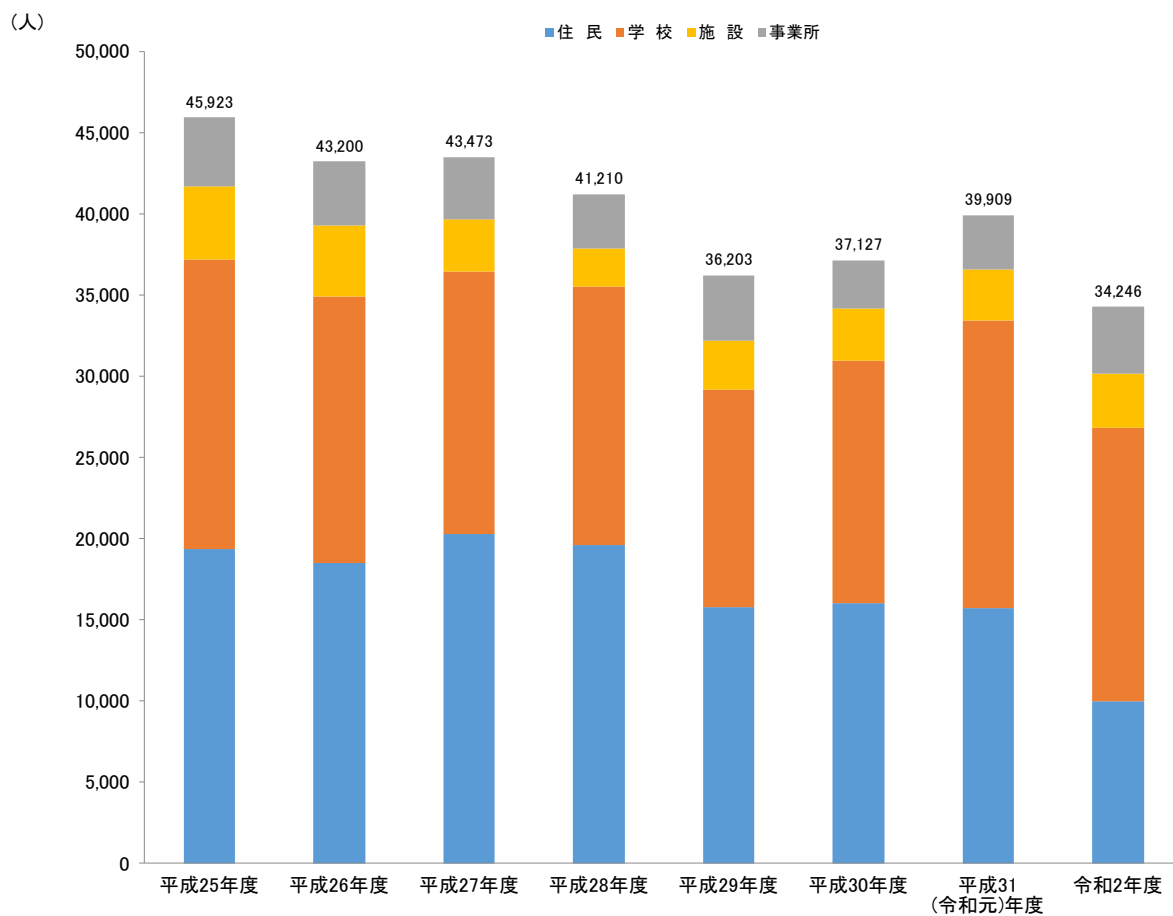


延べ880日にわたり34,246人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は38.92人であった。

表 4 結核健診実施状況の経年比較

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	19,342	11	18,456	10	20,247	10	19,583	4	15,734	10	16,020	10	15,710	11	9,959	10
学 校	17,802	80	16,419	80	16,213	80	15,935	80	13,447	77	14,916	156	17,703	169	16,861	165
施 設	4,548	77	4,415	77	3,207	77	2,357	77	3,007	56	3,212	60	3,162	63	3,299	66
事 業 所	4,231	165	3,910	162	3,806	162	3,335	162	4,015	154	2,979	87	3,334	114	4,127	173
合 計	45,923	333	43,200	329	43,473	329	41,210	323	36,203	297	37,127	313	39,909	357	34,246	414

図4 結核健診実施状況の経年比較



平成30年度から学校の健診が増えたことにより全体の受診人数が増加に転じていたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、特に住民健診の受診者数が減ったことから全体の受診人数が減少に転じた。



### (3) がん検診事業

がんは、日本人の死因のトップであり、なお増え続けている状況にある。滋賀県がん対策推進計画に基づき、県民に対してがんに関する正しい知識の普及、啓発を図り、がんの早期発見に努めるため、国の定める以下の5部位のがん検診を実施した。

#### ①胃がん検診

胃がんは、男性において最も罹患数が多いがんであり、県内でも胃がんによる死亡者がいまだ多い状況にあることから、胃がんの早期発見に努めるため、バリウム造影による胃部エックス線デジタル撮影により実施した。

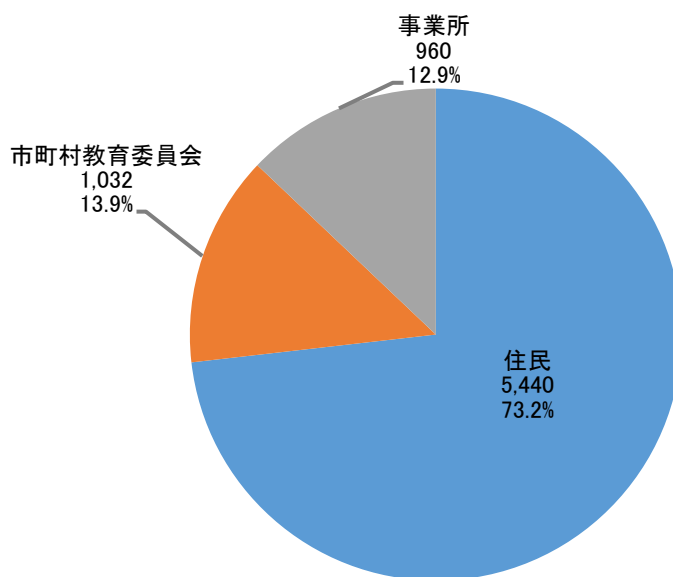
令和2年度胃がん検診実績者数は7,432人であり、前年度実績者数と比べ3,309人の減であった。

表1 胃がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	(胃所見) 精検不要	(付随所見) 精検不要	(精検不要) 受診勧奨	読影なし
住 民	12	5,440	2,427	225	51	1,954	43	740	0
市町村教育委員会	103	1,032	598	20	2	303	0	109	0
事 業 所	104	960	607	21	2	188	3	139	19
合計	219	7,432	3,632	266	55	2,445	46	988	19

(人)

図1 胃がん検診実施状況(団体別)



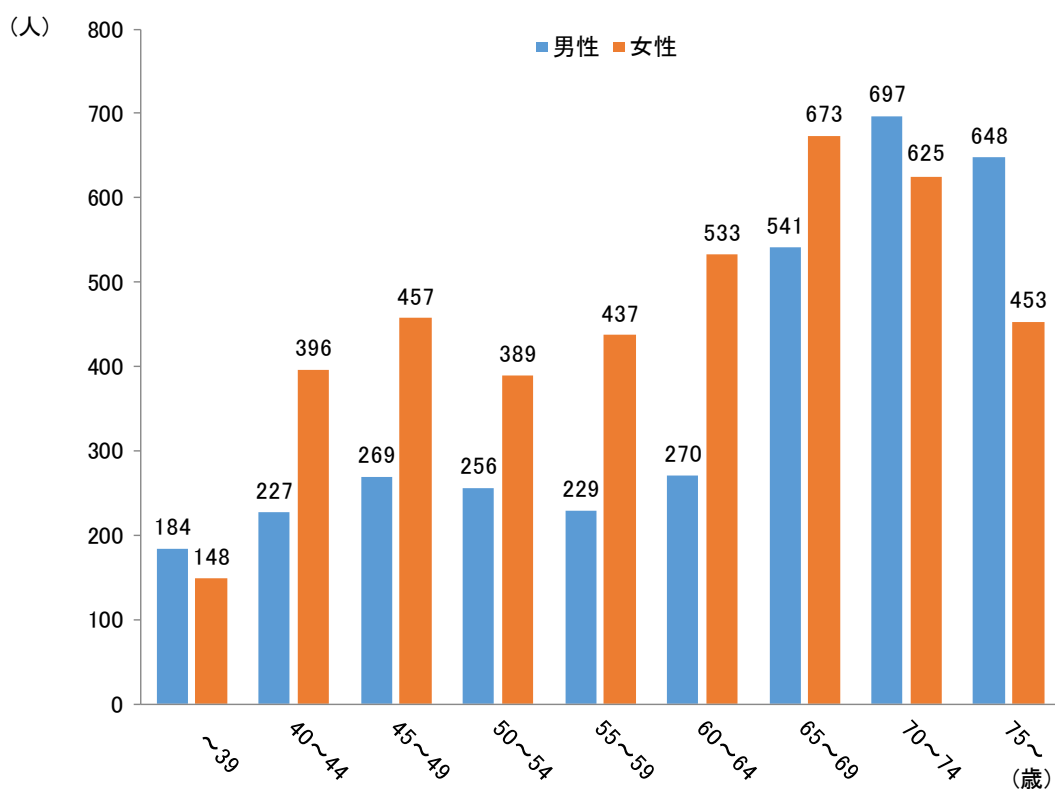
219団体7,432人が受診、そのうち、321人が要精検であった。

表2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	184	227	269	256	229	270	541	697	648	3,321
女性	148	396	457	389	437	533	673	625	453	4,111
合計	332	623	726	645	666	803	1,214	1,322	1,101	7,432

図2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

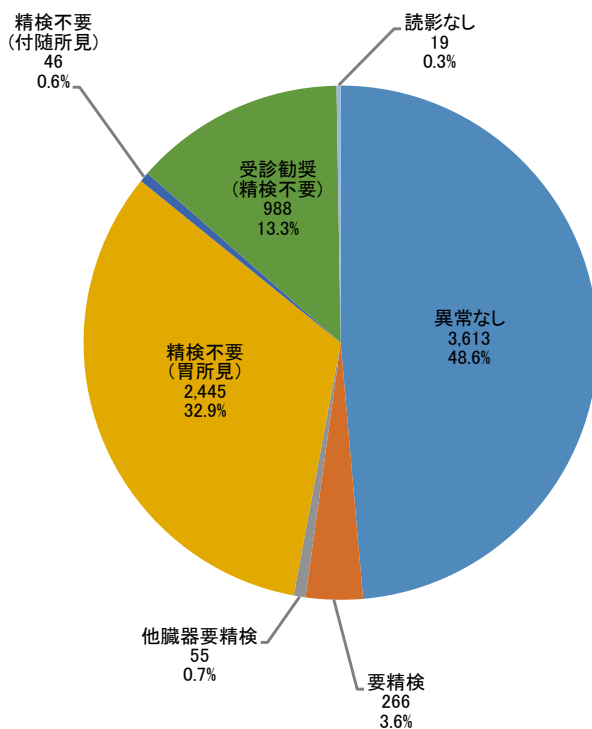


性別では、女性が男性より790人多く、年齢別では男性が70～74歳、75歳以上、65～69歳の順に多く、女性が65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。

表3 胃がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	精検不要 (胃所見)	精検不要 (付随所見)	受診勧奨 (精検不要)	読影なし	要精検率	要精検率 他臓器	有所見率	1日あたり 受診人数	
市町	178	5,440	2,427	225	51	1,954	43	740	0	4.1%	0.9%	49.5%	30.56	
内訳	大津市	35	1,069	495	36	13	427	11	87	0	3.4%	1.2%	48.1%	30.54
	草津市	4	111	53	6	1	44	0	7	0	5.4%	0.9%	45.9%	27.75
	栗東市	8	163	84	8	1	56	1	13	0	4.9%	0.6%	42.3%	20.38
	日野町	12	226	114	10	2	59	5	36	0	4.4%	0.9%	42.0%	18.83
	竜王町	5	216	92	14	1	82	1	26	0	6.5%	0.5%	50.0%	43.20
	彦根市	6	179	85	8	2	63	0	21	0	4.5%	1.1%	46.9%	29.83
	豊郷町	6	122	51	6	1	43	2	19	0	4.9%	0.8%	50.8%	20.33
	甲良町	5	191	88	7	2	62	1	31	0	3.7%	1.0%	48.7%	38.20
	多賀町	6	196	75	19	0	83	0	19	0	9.7%	0.0%	52.0%	32.67
	東近江市	36	1,407	625	52	7	493	11	219	0	3.7%	0.5%	50.6%	39.08
	高島市	22	696	299	31	11	233	10	112	0	4.5%	1.6%	49.6%	31.64
	米原市	33	864	366	28	10	309	1	150	0	3.2%	1.2%	53.1%	26.18
市町教育委員会	220	1,032	598	20	2	303	0	109	0	1.9%	0.2%	39.9%	4.69	
事業所	273	960	588	21	2	188	3	139	19	2.2%	0.2%	34.1%	3.52	
総数	671	7,432	3,613	266	55	2,445	46	988	19	3.6%	0.7%	46.2%	11.08	

図3 胃がん検診実施状況（結果別）

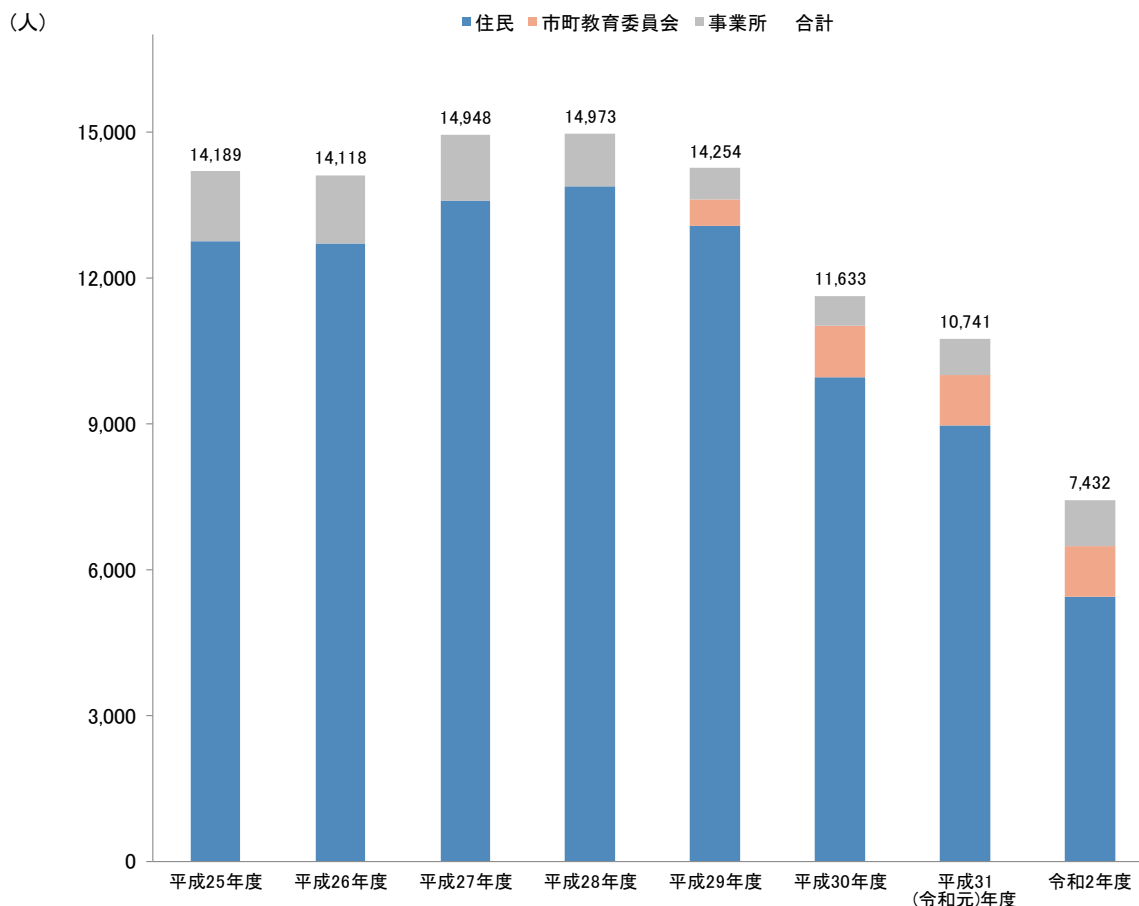


延べ671日にわたり、7,432人に実施、平均すると1日あたりの受診人数は約11人であった。

表4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	12,753	11	12,697	11	13,591	12	13,880	14	13,058	14	9,945	13	8,951	13	5,440	12
市町教育委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	542	48	1,079	103	1,052	107	1,032	103
事 業 所	1,436	144	1,421	142	1,357	133	1,093	104	654	55	609	57	738	79	960	104
合 計	14,189	155	14,118	153	14,948	145	14,973	118	14,254	117	11,633	173	10,741	199	7,432	219

図4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）



平成24年度から平成29年度にかけて14,000人台を維持してきたが、住民健診の失注や市町の高齢者受診案内が控えられたこと等により平成30年度から大幅な減少となった。以降は、国の方針で、胃がん検診を集団検診ではなく、診療所等で内視鏡などを利用した検診への推奨がなされたことにより受診人数は、減少の一途をたどっている。

それに加え、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による検診の中止・延期・受診控え等で、さらに減少した。

## ②大腸がん検診

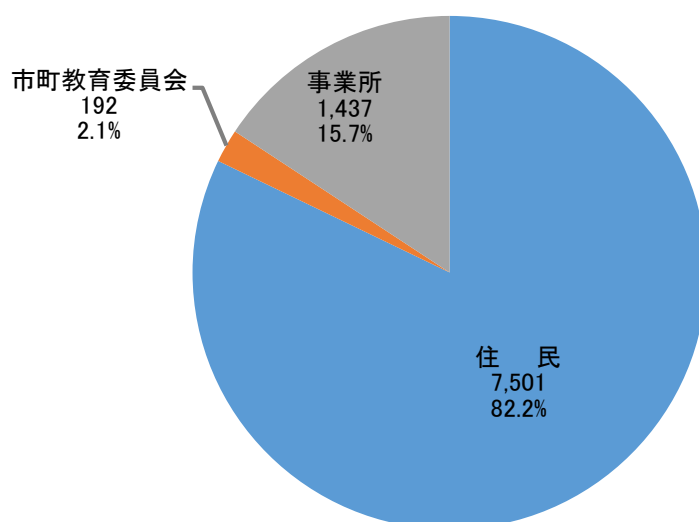
大腸がんによる死亡者は増加傾向にあり、最も罹患率の多い疾患となっている。早期発見、早期治療に努めるため、便潜血検査（免疫便潜血検査2日法）を実施した。

令和2年度大腸がん検診実績者数は9,130人であり、前年度実績者数と比べ3,477人の減であった。

表1 大腸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検
住 民	9	7,501	6,971	514	16	0	13
市 町 教 育 委 員 会	29	192	171	21	0	0	0
事 業 所	114	1,437	1,375	62	0	0	0
合 計	152	9,130	8,517	597	16	0	13

図1 大腸がん検診実施状況（団体別）



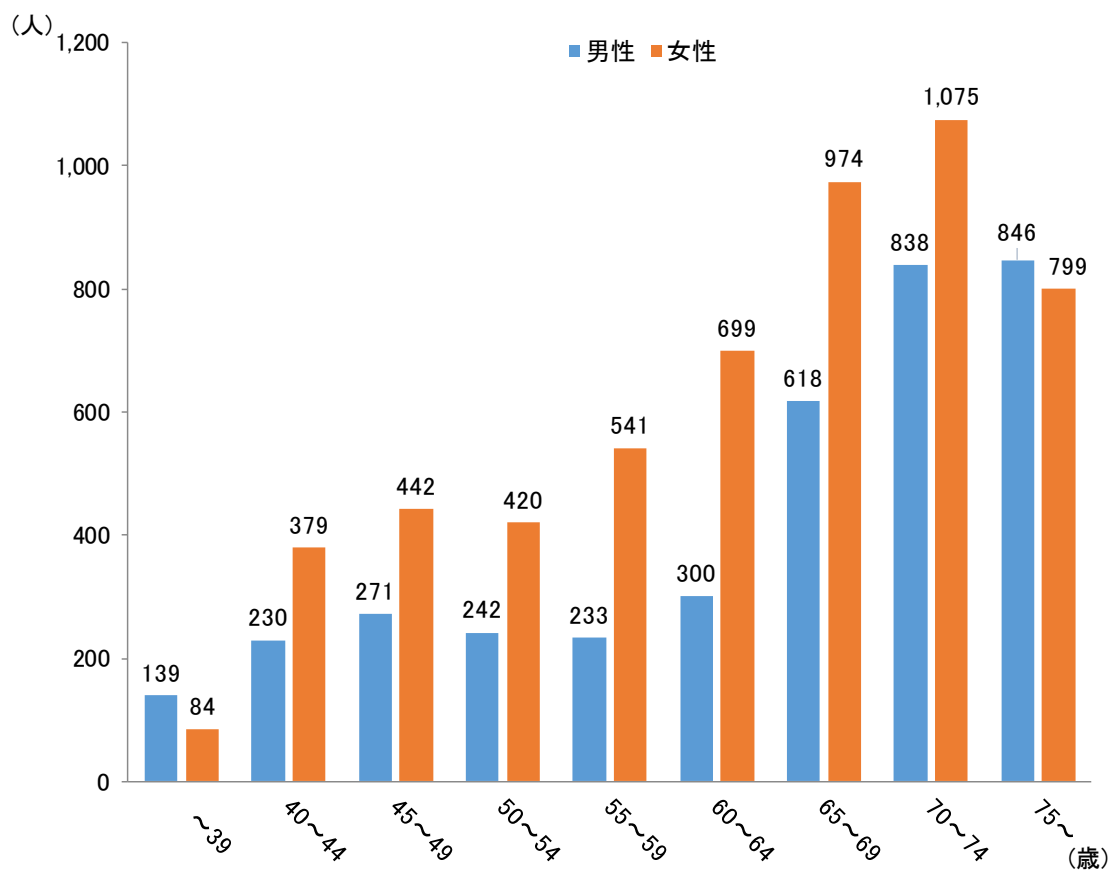
152団体9,130人が受診。そのうち、597人が陽性であった。

表2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	139	230	271	242	233	300	618	838	846	3,717
女性	84	379	442	420	541	699	974	1,075	799	5,413
合計	223	609	713	662	774	999	1,592	1,913	1,645	9,130

図2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

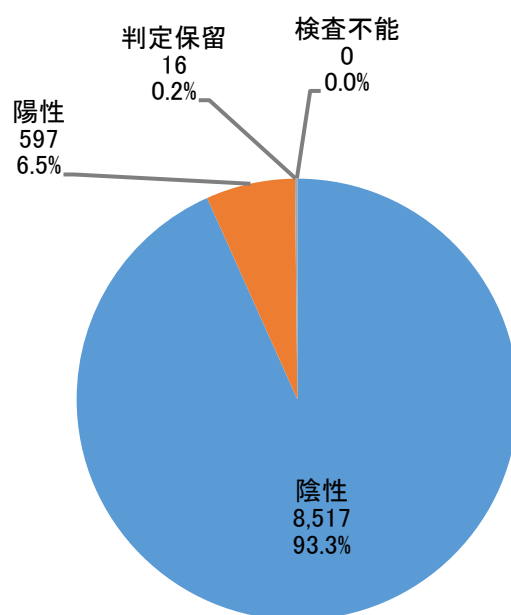


性別では、女性が男性より多く、年齢別では、男性で75歳以上、70～74歳、65～69歳、女性で70～74歳、65～69歳、75歳以上の順に多かった。

表3 大腸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検	陽性率	1日あたり受診人数
市町	186	7,501	6,971	514	16	0	13	6.9%	40.33
日野町	14	544	492	36	16	0	13	6.6%	38.86
竜王町	5	381	361	20	0	0	0	5.2%	76.20
彦根市	12	314	282	32	0	0	0	10.2%	26.17
豊郷町	8	251	240	11	0	0	0	4.4%	31.38
甲良町	6	394	354	40	0	0	0	10.2%	65.67
多賀町	8	379	338	41	0	0	0	10.8%	47.38
東近江市	37	2,376	2,208	168	0	0	0	7.1%	64.22
高島市	30	1,256	1,187	69	0	0	0	5.5%	41.87
米原市	33	1,606	1,509	97	0	0	0	6.0%	48.67
市町教育委員会	69	192	171	21	0	0	0	10.9%	2.78
事業所	313	1,437	1,375	62	0	0	0	4.3%	4.59
総数	568	9,130	8,517	597	16	0	13	6.5%	16.07

図3 大腸がん検診実施状況（結果別）

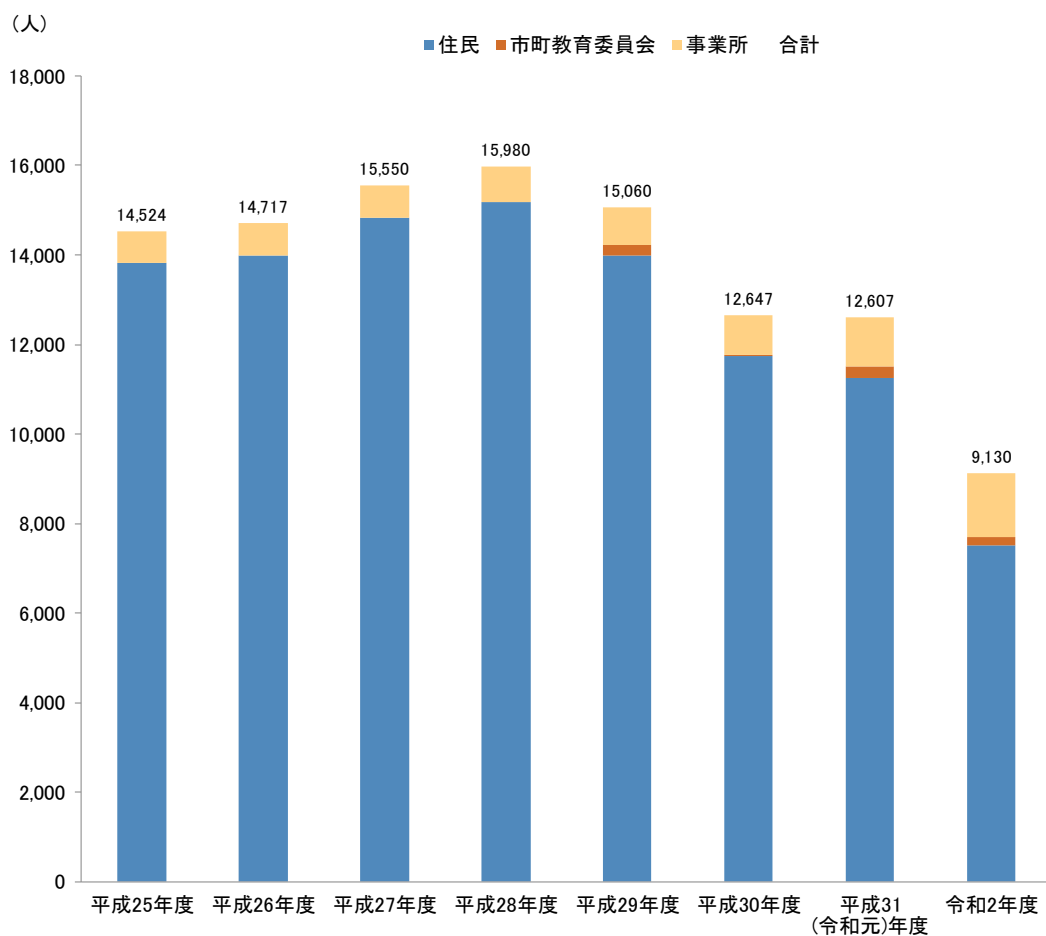


延べ568日にわたり、9,130人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は16.07人であった。

表4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	13,829	7	13,999	7	14,825	8	15,177	10	13,988	10	11,736	9	11,246	10	7,501	9
市町教育委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	227	28	27	1	253	28	192	29
事 業 所	695	63	718	63	725	55	803	53	845	58	884	59	1,108	86	1,437	114
合計	14,524	70	14,717	70	15,550	63	15,980	63	15,060	96	12,647	69	12,607	124	9,130	152

図4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により検診の中止や延期、受診控えがあったため、前年度より受診者数が約30%減少した。



### ③子宮頸がん検診

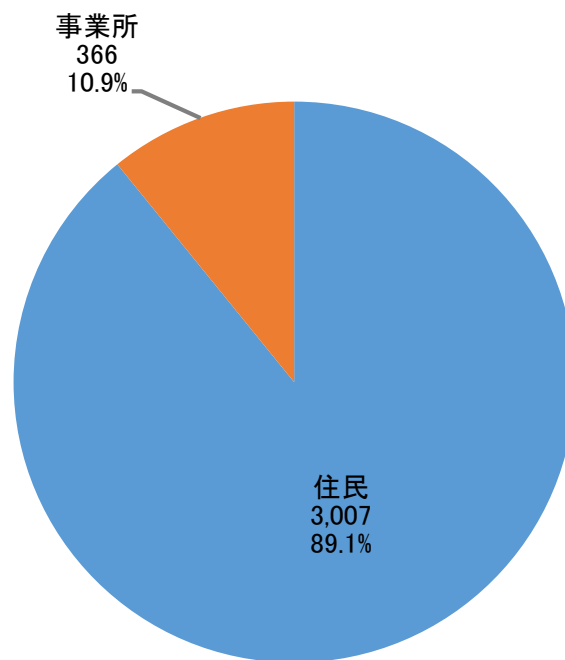
子宮頸がんは20代、30代の女性が患うがんの中で最も多い疾患である。早期発見に努めるため、双合診および子宮頸部の細胞診の併用により実施した。

令和2年度子宮頸がん検診実績者数は3,373人であり、子宮頸がん検診は前年度実績者数と比べ2,018人の減であった。

表1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	要再検	異常を認めず	その他	要精検率 (B/A)
住 民	9	3,007	6	0	3,001	0	0.20%
事 業 所	16	366	0	0	366	0	0.00%
合計	25	3,373	6	0	3,367	0	0.18%

図1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

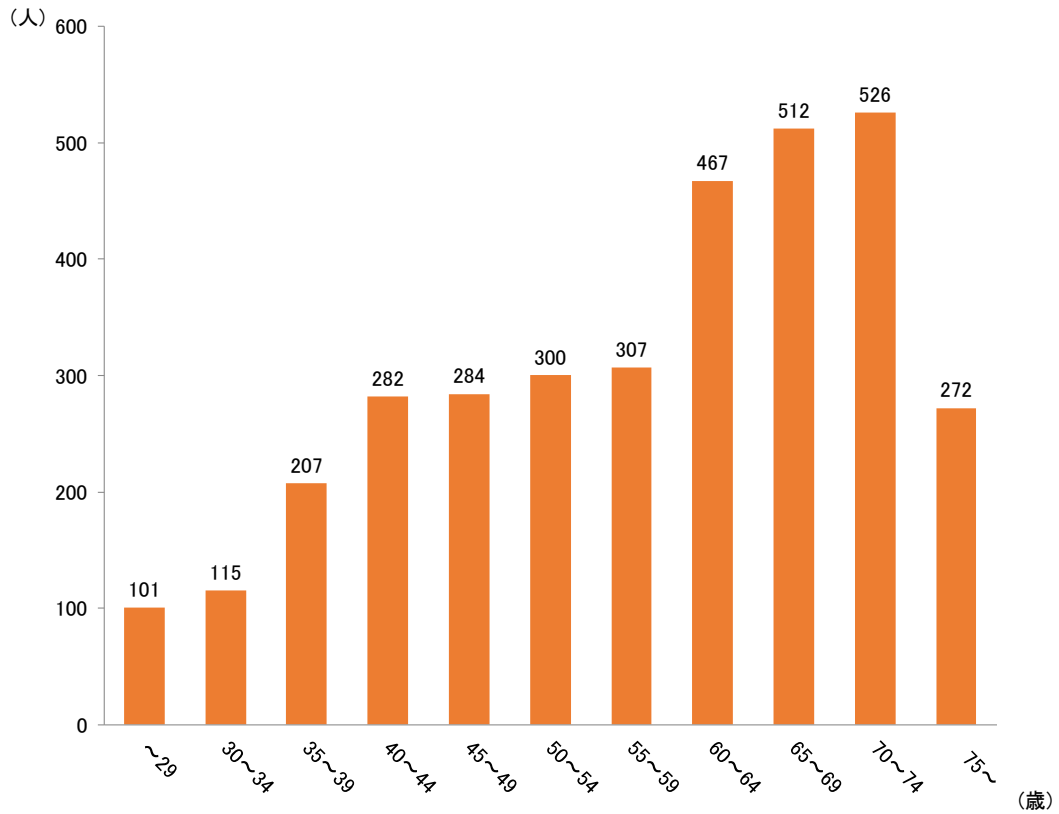


25団体3,373人が受診し、そのうち、6人が要精検者であった。

表2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

(人)												
性別	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	101	115	207	282	284	300	307	467	512	526	272	3,373

図2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

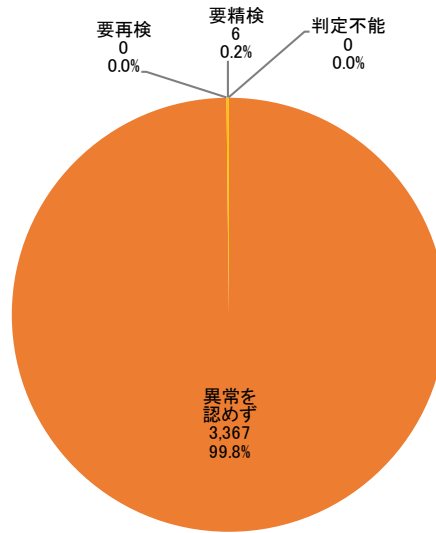


年齢別では、70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に受診者が多かった。

表3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	ベセスダ分類										判定不能	認めず	要再検	要精検	要精検率	1日あたり受診人数		
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other								
市町	110	3,007	3,001	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,001	0	6	0.20%	27.34
日野町	9	176	175	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175	0	1	0.57%	19.56	
竜王町	5	206	206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	0	0	0.00%	41.20	
彦根市	4	114	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	0	0	0.00%	28.50	
豊郷町	3	101	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	0	0	0.00%	33.67	
甲良町	6	144	143	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	143	0	1	0.69%	24.00	
多賀町	5	112	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	0	0	0.00%	22.40	
東近江市	31	1,037	1,035	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,035	0	2	0.19%	33.45	
高島市	21	580	579	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	579	0	1	0.17%	27.62	
米原市	26	537	536	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	536	0	1	0.19%	20.65	
事業所	15	366	366	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366	0	0	0.00%	24.40	
総数	125	3,373	3,367	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,367	0	6	0.18%	26.98	

図3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

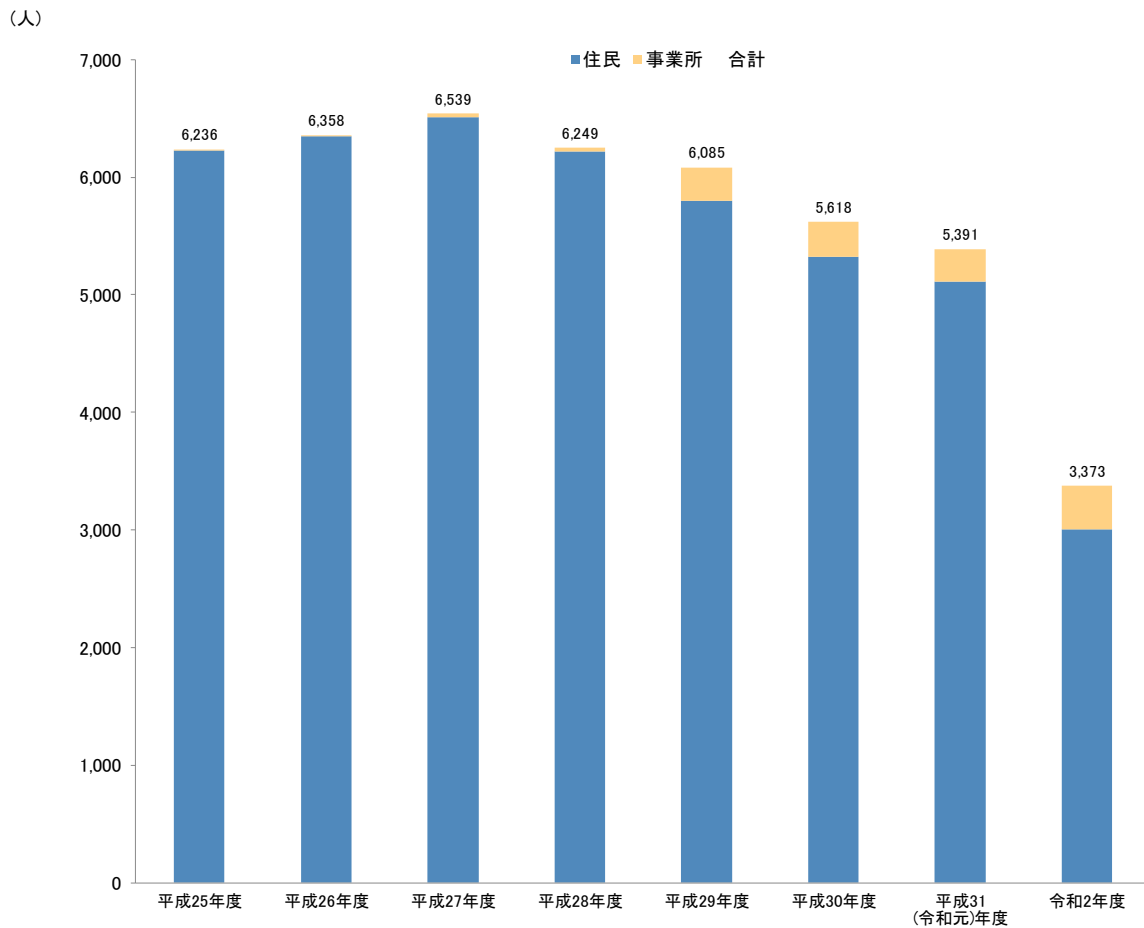


延べ126日にわたり、3,367人に実施、平均すると1日あたりの受診人数は26.98人であった。

表4 子宮頸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	6,231	9	6,352	8	6,508	9	6,216	9	5,802	9	5,323	9	5,110	10	3,007	9
事 業 所	5	3	6	4	31	4	33	4	283	10	295	13	281	16	366	16
合 計	6,236	12	6,358	12	6,539	13	6,249	13	6,085	19	5,618	22	5,391	26	3,373	25

図4 子宮頸がん検診の実施状況の経年比較(団体別)



市町の受診勧奨により平成25年～平成27年度は増加したが、その後漸減。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあったことから、前年度に比べて受診者が約38%減少した。

#### ④乳がん検診

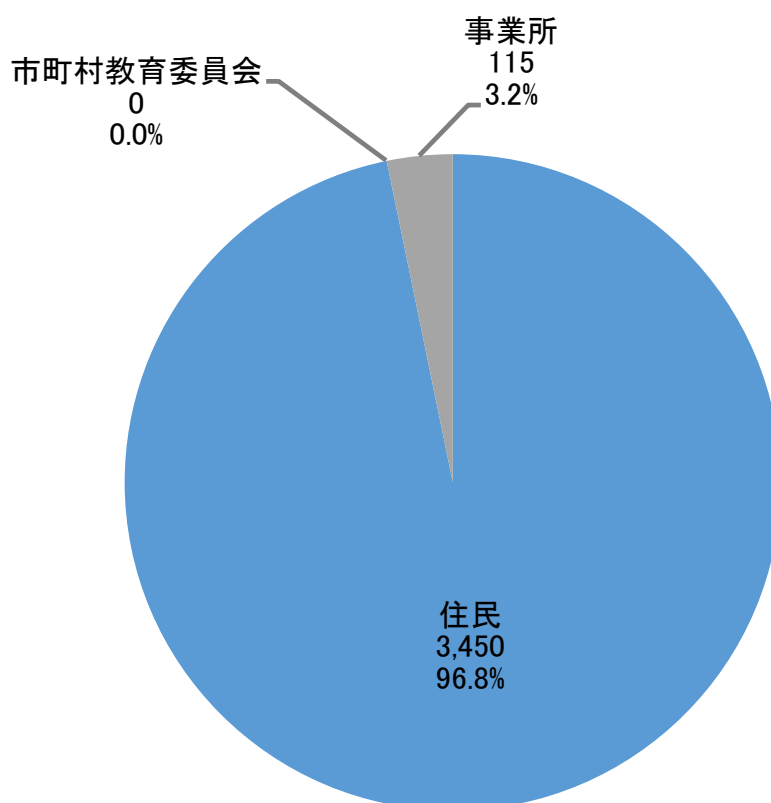
乳がんは、女性において最も罹患率が多いがんであり、患率は増加傾向にあるが、早期の発見、治療を行えば予後は良好である。当財団では、マンモグラフィ撮影を実施した。

令和2年度乳がん検診実績者数は3,565人であり、前年度実績者数と比べ2,570人の減であった。

表1 マンモグラフィ併用乳がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)
				有所見	異常所見なし	
住 民	9	3,450	210	0	3,240	6.09%
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%
事 業 所	26	115	4	0	111	3.48%
合計	35	3,565	214	0	3,351	6.00%

図1 マンモグラフィ併用乳がん検診実施状況（団体別）



35団体3,565人が受診し、そのうち、214人（6%）が要精密検査であった。

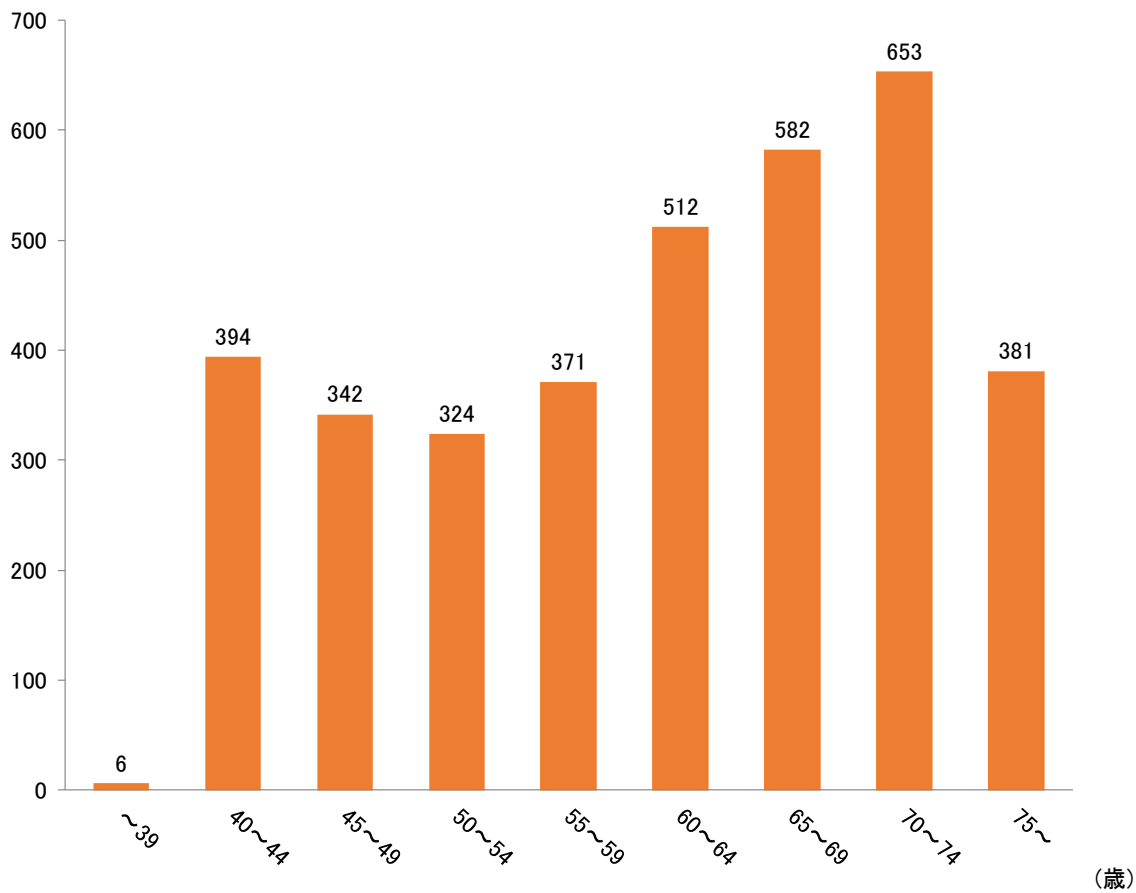
表2 乳がん検診実施状況（年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	6	394	342	324	371	512	582	653	381	3,565

図2 乳がん検診実施状況（年齢別）

(人)

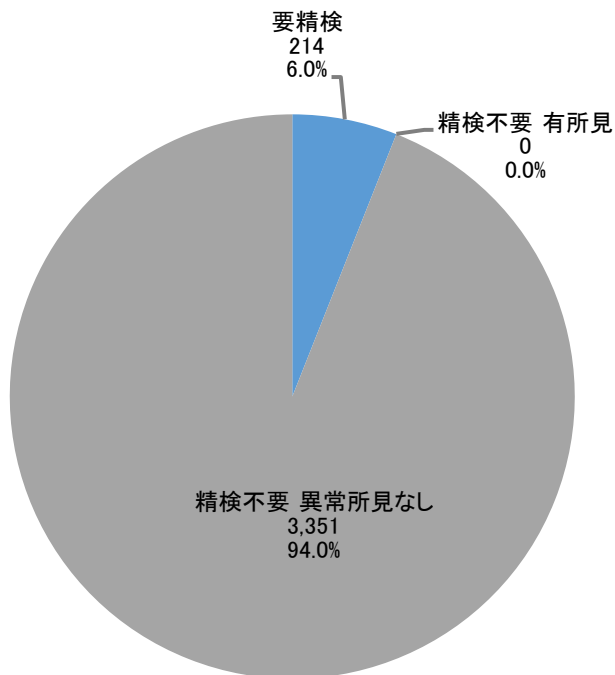


年齢別では70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に多かった。

表3 乳がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)	1日あたり 受診人数
				有所見	異常所見なし		
市町	111	3,450	210	0	3,240	6.09%	31.08
日野町	9	188	13	0	175	6.91%	20.89
竜王町	5	218	13	0	205	5.96%	43.60
彦根市	4	154	9	0	145	5.84%	38.50
豊郷町	4	125	15	0	110	12.00%	31.25
甲良町	6	182	11	0	171	6.04%	30.33
多賀町	5	148	4	0	144	2.70%	29.60
東近江市	31	1,102	94	0	1,008	8.53%	35.55
高島市	21	630	29	0	601	4.60%	30.00
米原市	26	703	22	0	681	3.13%	27.04
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%	0.00
事業所	47	115	4	0	111	3.48%	2.45
総数	158	3,565	214	0	3,351	6.00%	22.56

図3 乳がん検診実施状況（結果別）

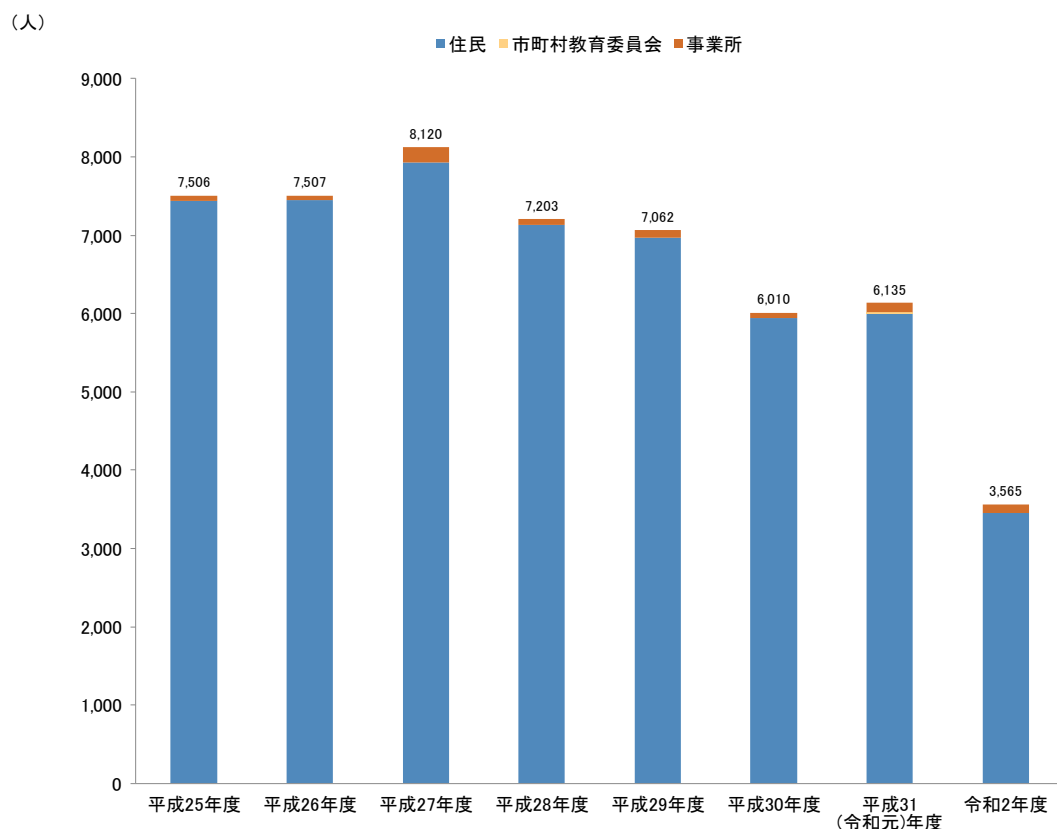


延べ158日にわたり、3,565人に実施。平均すると1日あたり受診人数は22.56人であった。

表4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	7,437	9	7,450	9	7,933	10	7,127	10	6,966	10	5,939	9	5,994	10	3,450	9
市町村教育委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	1	0	0
事 業 所	69	4	57	3	187	6	76	4	96	7	71	12	122	12	115	26
合 計	7,506	13	7,507	12	8,120	16	7,203	14	7,062	17	6,010	21	6,135	23	3,565	35

図4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）



平成31(令和元)年度は事業所の受診者が増加したことにより、微増となっていたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、受診者数が前年に比べて約42%減となった。



### ⑤肺がん検診

肺がんは、部位別がん死亡数が最も多い疾患である。早期発見のため、問診および胸部エックス線デジタル撮影、またハイリスクの受診者に対しては喀痰細胞診との併用により実施した。令和2年度肺がん検診実績者数は6,210人であり、前年度実績者数と比べ6,450人の減であった。また、そのうち喀痰検査併用受診者が182人であった。

表1 肺がん検診実施状況（団体別）

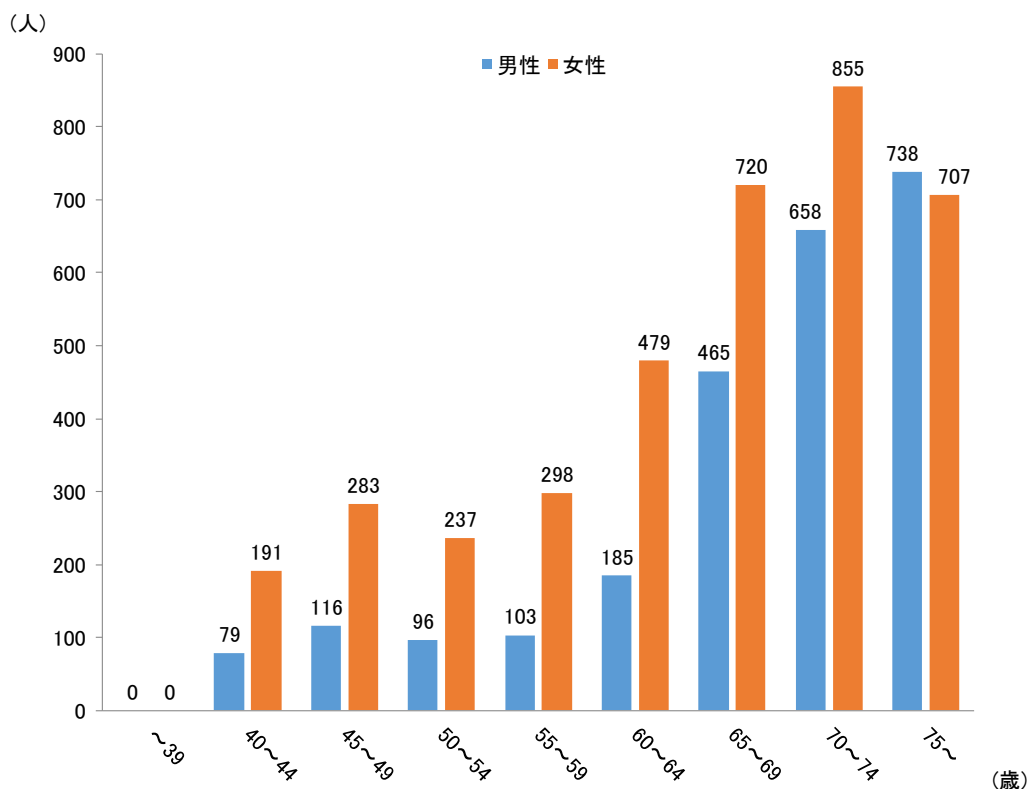
団体区分	団体数	受診者数	精検不要	肺活動核性	核非活動性	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	強く疑う	異常なし	読影なし
住民	11	6,210	1,634	1	31	5	6	100	1	4,432	0
事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	6,210	1,634	1	31	5	6	100	1	4,432	0

11団体6,210人が受診し、そのうち、精検不要、異常なしを除くと、144人に所見が見られた。

表2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	0	79	116	96	103	185	465	658	738	2,440
女性	0	191	283	237	298	479	720	855	707	3,770
合計	0	270	399	333	401	664	1,185	1,513	1,445	6,210

図2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

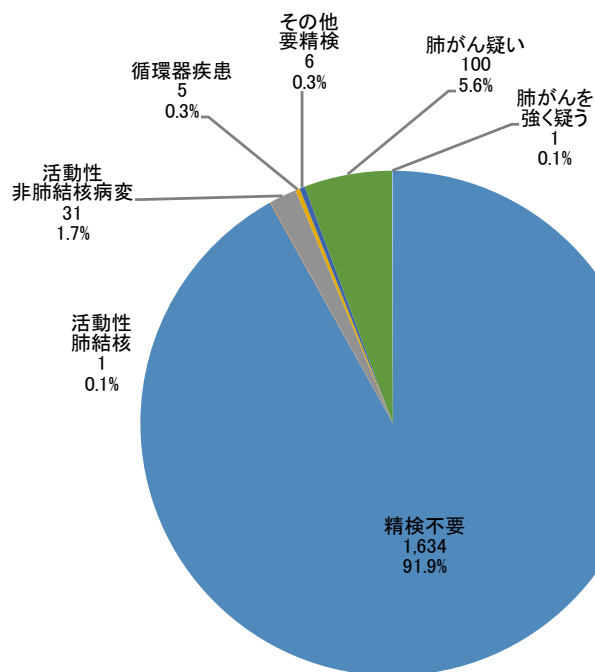


性別では、女性が男性より多く、年齢別では男性が75歳以上、70～74歳、65～69歳の順に多く、女性が70～74歳、65～69歳、75歳以上の順に多かった。

表3 肺がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	肺活動性結核	非肺活動性結核病変	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたり受診人数
市町	144	6,210	1,634	1	31	5	6	100	1	4,432	0	43.13
栗東市	10	331	82	0	0	0	0	7	0	242	0	33.10
日野町	8	195	44	0	1	0	0	6	0	144	0	24.38
竜王町	5	335	77	0	1	0	0	4	0	253	0	67.00
彦根市	10	332	90	0	2	0	0	3	0	237	0	33.20
豊郷町	9	668	217	1	3	1	1	14	0	431	0	74.22
甲良町	5	272	52	0	1	0	1	5	0	213	0	54.40
多賀町	31	246	50	0	0	0	1	4	0	191	0	7.94
東近江市	37	2,679	728	0	16	2	2	42	1	1,888	0	72.41
高島市	4	237	64	0	0	0	0	0	0	173	0	59.25
米原市	25	915	230	0	7	2	1	15	0	660	0	36.60
事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
総数	144	6,210	1,634	1	31	5	6	100	1	4,432	0	43.13

図3 肺がん検診実施状況（結果別、異常なしを除く）

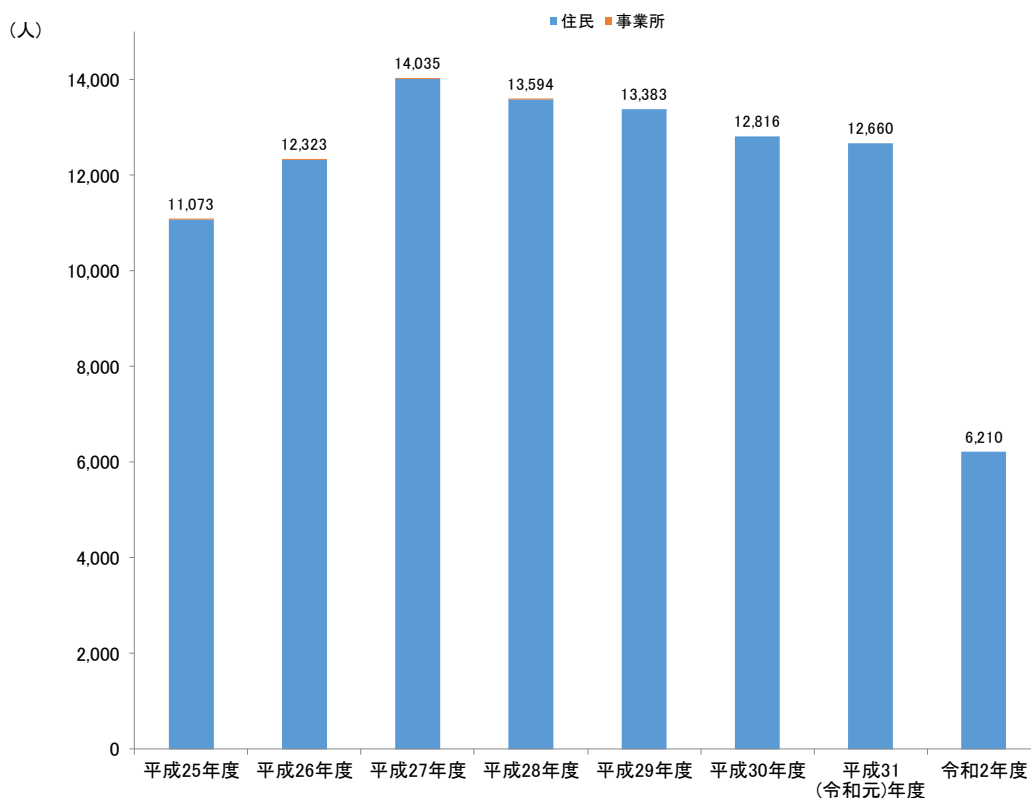


延べ144日にわたり、6,210人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は43.13人であった。

表4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	11,068	8	12,318	9	14,016	11	13,592	11	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11
事 業 所	5	1	5	1	19	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11,073	9	12,323	10	14,035	14	13,594	12	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11

図4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）



一部市町において、医療機関での実施数が増えたことにより、平成28年以降、漸減している。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により検診の中止・延期、受診控えがあったため、前年に比べて受診者数が半減した。

#### (4) 検査事業

##### ①骨粗しょう症検査

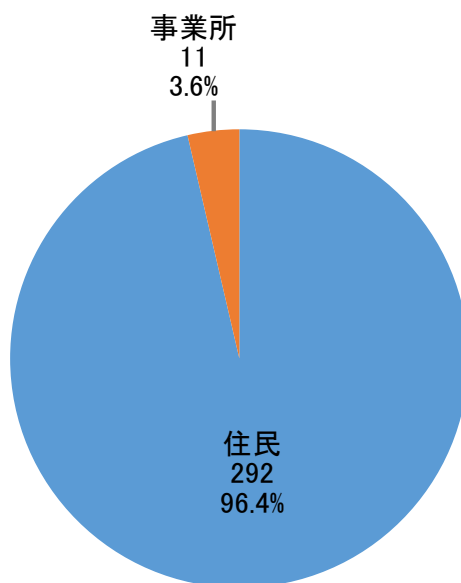
骨粗しょう症は骨折や寝たきりの原因となる疾患であり、予防や早期治療開始を目的として、前腕の橈骨における骨量測定検査（DXA法）を実施した。

令和2年度骨粗しょう症検査実績者数は303人であり、前年度実績者数と比べ466人の減であった。

表1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見 なし	要受診率 (B/A)
住 民	4	292	90	64	138	30.82%
事 業 所	1	11	1	3	7	9.09%
合 計	5	303	91	67	145	30.03%

図1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）



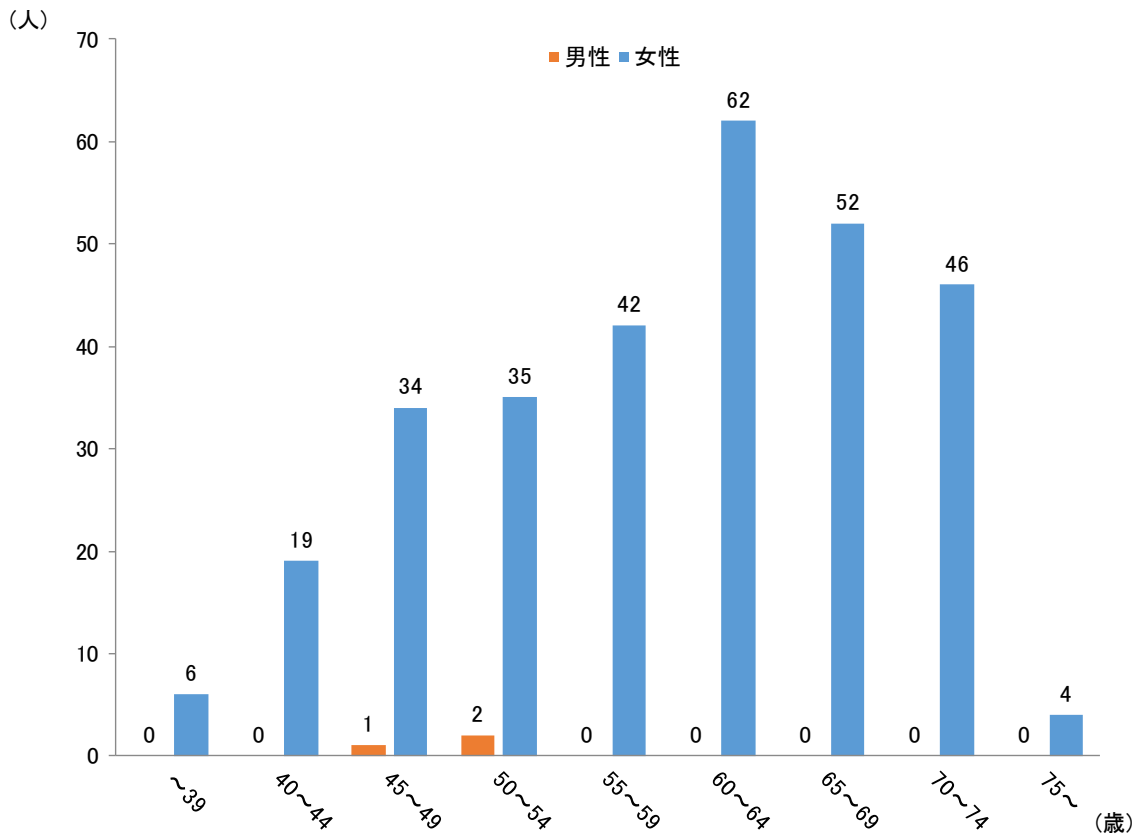
5団体303人が受診し、そのうち、91人（30%）が要受診であった。

表2 骨粗しょう症検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
女性	6	19	34	35	42	62	52	46	4	300
合計	6	19	35	37	42	62	52	46	4	303

図2 骨粗しょう症検診実施状況（女性：年齢別）



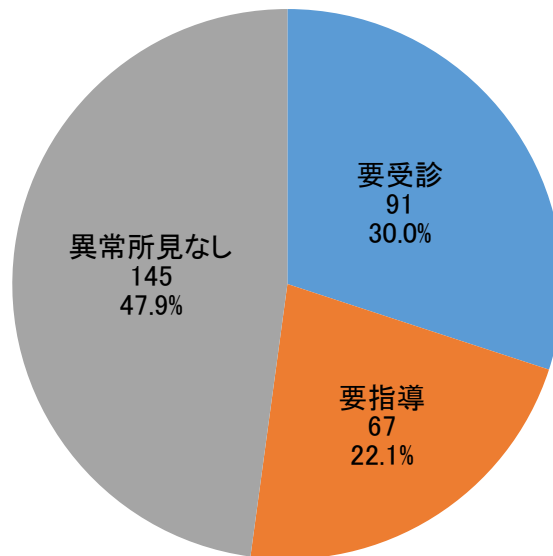
年齢別では、女性で65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。

男性は、50～54歳で2名、45～49歳で1名の受診があった。

表3 骨粗しょう症検査実施状況（団体別詳細）

		日数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見なし	要受診率 (B/A)	1日あたり 受診人数
市町		10	292	90	64	138	30.82%	29.20
内訳	豊郷町	3	129	38	29	62	29.46%	43.00
	多賀町	1	59	17	12	30	28.81%	59.00
	高島市	1	18	8	5	5	44.44%	18.00
	米原市	5	86	27	18	41	31.40%	17.20
事業所		2	11	1	3	7	0.00%	0.00
総数		12	303	91	67	145	30.03%	25.25

図3 骨粗しょう症検診実施状況（結果別）

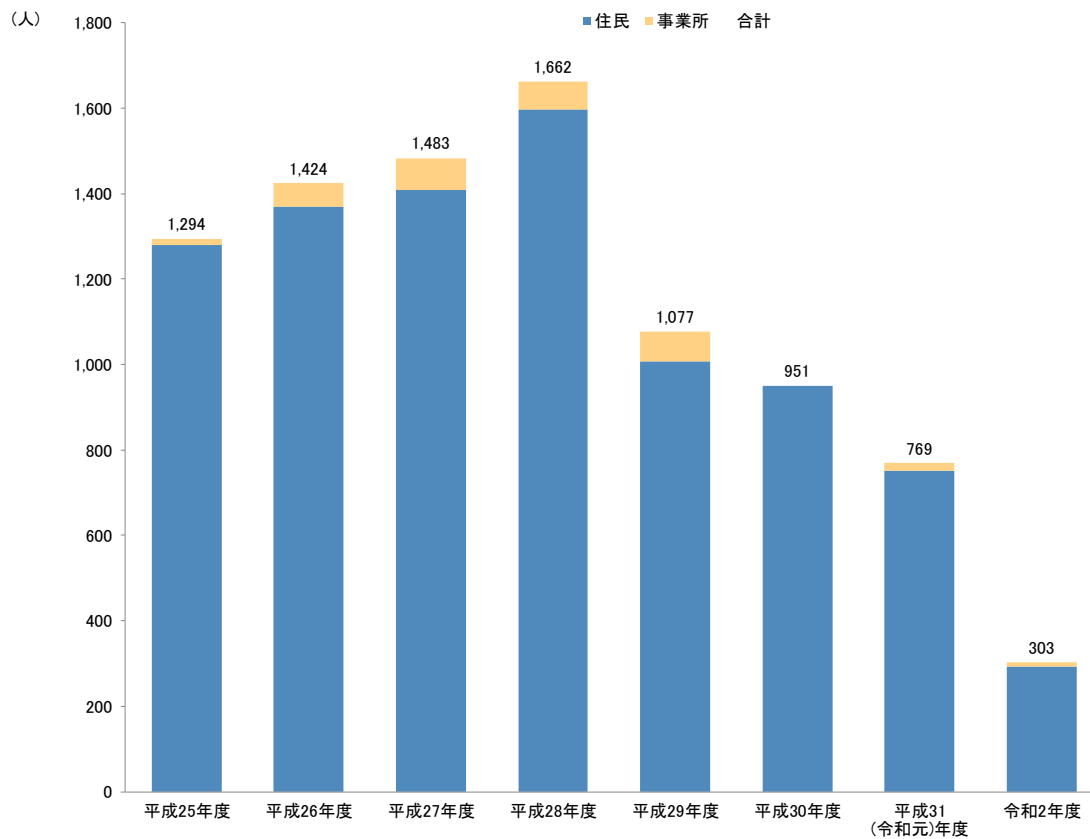


延べ12日にわたり303人に実施。平均すると1日あたりの受診人数は25.25人であった。

表4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	1,279	7	1,370	7	1,408	8	1,597	8	1,007	7	951	7	751	6	292	4
事 業 所	15	1	54	1	75	1	65	1	70	1	0	0	18	2	11	1
合 計	1,294	8	1,424	8	1,483	9	1,662	9	1,077	8	951	7	769	8	303	5

図4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）



平成29年度、平成31（令和元）年度は、それぞれ1市の検査が減ったことにより受診者数が減少している。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあったため、前年に比べて約61%の受診者数減となった。

## (5) 健診結果分析評価事業

疾病予防や健康づくり等、滋賀県民一人ひとりの健康増進を図るため、財団において所有する

各健診（検診）データの結果分析および評価を行い、情報の還元を行った。

令和2年度については、市町が実施する5つのがん検診に着目し、要精検率・がん発見率・精検受診率・陽性反応適中度の4項目について、統計法のファンネルプロットで集計し、各市町の状況をまとめ、財団ホームページ上に掲載した。

## (6) 健康づくり事業

滋賀県健康いきいき21の実質的な推進母体として活動される滋賀県健康推進員団体連絡協議会に対し、継続的な健康づくり事業の推進のための支援を行った。

また、事業所の従業員を対象に、健康づくり出前講座等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による在宅生活での健康づくりに役立つ栄養・運動の情報を財団ホームページに掲載した。

### ①滋賀県健康推進員団体連絡協議会の活動に対する支援

滋賀県健康推進員団体連絡協議会への助成金の交付

滋賀県健康推進員団体連絡協議会との連携を密にしながら、地域への健康づくりの取り組みの拡大を支援するために健康づくり助成金の交付を行った。

・交付額 500,000円

・主な助成金交付対象事業

県民の健康づくりに関する事業

県民の健康づくりの指導者等を育成する事業

### ②市町・事業所への出前講座等

社会福祉法人ゆたか会での健康講座

社会福祉法人ゆたか会の職員に向けて健康講座を行った。

日時 令和2年8月20日(木) 13:30～14:40

場所 社会福祉法人ゆたか会

内容 「食中毒の予防について」（講話50分）

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 管理栄養士 松田桃子

「がん検診について」（講話15分）

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 保健師 清水めぐみ

参加者数 35名

### ③財団ホームページへの健康づくり情報の掲載(STAY HOME and Do Something)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自宅で過ごす時間が増えたことから、健康づくり役立つ情報として、運動不足解消や気分転換につながるエクササイズや栄養バランスを考えた簡単な料理レシピを「STAY HOME and Do Something」と題してホームページに掲載した。

・おうちでエクササイズ

体幹・脚力・腹筋等を鍛える運動(12種類)

・おうちでクッキング

ごはん・おかず・お菓子等のレシピ(12種類)



#### ④施設内健診受診者への情報提供

施設内健診受診者に対し、健康に関する情報提供として、「がん」、「がん検診」をテーマにしたリーフレットを作成し、配布した(1,025名)。

#### ⑤その他

「しがの健康づくりサポーター」および「健康おおつ21応援団」として、財団施設内にステッカーや卓上旗の設置を行った。

- ・しがの健康づくりサポーターステッカー

「禁煙・食生活・運動」

- ・健康おおつ21応援団

「健康寿命を伸ばそう！みんなで取り組む生き生きと笑顔で暮らせる健康な街づくり」

---

---

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球斡旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

---

---

- (1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業
- (2) アイバンク事業
- (3) 腎臓バンク事業

### 3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

#### (1) 臓器移植コーディネーター設置および臓器移植キャンペーン事業

滋賀県における臓器移植を推進するため、設置している臓器移植コーディネーターが広く県民に腎臓等臓器移植に関する正しい知識の普及啓発活動を行った。また、医療施設には、臓器提

供に対する理解と協力を得て、臓器移植の円滑な実施を図るための体制づくり等について働きかけた。さらに、臓器移植提供者発生時は、円滑な臓器移植を推進するため家族等に対するイン

ン

フォームドコンセントおよび関係機関等との連絡調整を実施した。

##### ①普及啓発

臓器移植キャンペーン事業とアイバンク、腎臓バンク事業の共通事業として、臓器移植普及推進月間(10月)を中心に啓発を行った。

##### I. 地域住民などへの啓発活動

##### i. 啓発資材等の配布

県内における保健所、市町、運転免許センター等の公共施設窓口にて意思表示カード付リーフレット等の設置や、啓発に協力していただけるよう県内256施設へ啓発資材等を配布した。

##### ii. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

日時 令和2年10月1日(木) 午前1回、午後1回

令和2年10月15日(木) 午前1回、午後1回

令和2年10月16日(金) 午前1回、午後1回

放送局 株式会社エフエム滋賀

内容 ラジオパーソナリティが1分間語り口調で、臓器移植キャンペーンの周知および臓器移植についての呼びかけを実施した。

##### iii. 臓器移植希望者(レシピエント)への登録説明 3名(うち登録者3名)

##### II. 臓器提供に協力いただく施設の医療従事者との連携および体制整備の取り組み

##### i. 県内の脳死下臓器提供可能施設に設置された院内コーディネーターとの連携を図ることを目的として、院内コーディネーター連絡会(年2回)を開催した。

##### 【第1回】

日時 令和2年8月21日(金) 13:30 ~ 15:30

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)

内容 ①「院内コーディネーターの役割」

##### ②グループワーキング

i ドナー適応

ii 本人の臓器提供に関する意思表示について

iii 家族の希望の総意なこと

iv その他、確認が必要なこと

v 今後の方針について

参加者数 オンライン 10 箇所、対面 1 名

### 【第 2 回】

日時 令和 3 年 2 月 5 日(金) 14:00 ~ 16:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)

内容 ①「膵島移植について」

②「新型コロナウイルス感染症(covid-19)への対応について」

参加者数 オンライン 10 箇所

ii. 臓器移植に関する正しい知識の普及啓発および脳死下臓器提供医療機関の体制整備推進を目的として、院内勉強会・院内シミュレーションを実施した。(日本臓器移植ネットワーク都道府県支援事業含む)

・市立長浜病院内体制整備(臓器提供委員会)

日時 令和 2 年 10 月 12 日(月) 15:00 ~ 17:00

内容 ①臓器提供マニュアルの作成

②手術室の対応について

③搬送ルートについて ほか

参加者数 約 6 名(院内コーディネーター 2 名を含む)

・長浜赤十字病院脳死下臓器提供シミュレーション

日時 令和 2 年 11 月 25 日(水) 17:30 ~ 19:30

内容 小児の脳死下臓器提供シミュレーション

参加者数 病院関係者 38 名

### ②臓器提供発生時業務

臓器提供発生時には日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携し、臓器提供の円滑な実施に向け、以下の業務を行った。

I. 臓器提供者の適応を確認するとともに、臓器提供について申し出があった家族に対し説明を行い、意思確認を行った。

II. 情報発生施設に対して、円滑な実施に向けて説明や調整を行った。臓器摘出に係る検査や搬送の手配および関係機関等への連絡調整を実施した。

○令和 2 年度臓器提供実績

・第 668 例目脳死下臓器提供(提供臓器：心臓、肺、肝臓、腎臓)

### ③症例対応後業務

I. 遺族に対し、感謝状の贈呈、移植患者の経過報告等を遺族希望に応じて実施した。

II. 情報提供施設の関係部署へ定期的に移植後の経過・ご家族の様子を報告した。

## (2) アイバンク事業

善意の眼球提供により、視力障害者の視力の回復に資するため、眼球提供者の募集・提供登録者の拡大を図るとともに、提供眼球的斡旋を行った。また、県民の献眼に関する正しい知識の普及啓発を行い協力を広げることを目的に、関係機関、関係団体等の支援および協力を得て事業を展開した。

### ①眼球提供者の募集および登録

眼球的提供登録を推進するため、眼球提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による眼球提供者登録を行った。

令和2年度登録者 9名  
 実登録者数 6,292名

**表1 アイバンク登録者実績表**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和2年度
登録者数	25	40	51	64	9
実登録者数	6,394	6,365	6,358	6,346	6,292

②眼球の摘出・斡旋

I. 角膜移植待機者の把握

県下の移植医療機関4病院における移植待機者数0名

II. 眼球の摘出・斡旋

令和2年度斡旋眼球実績

献眼0名、摘出眼球0眼、斡旋眼球1眼

斡旋眼球実績累計（昭和59年度～令和2年度分）

献眼 167名

摘出眼球 322眼

斡旋眼球 271眼

斡旋先 151眼（県内）、120眼（県外）

③啓発事業の実施

眼に関する正しい保健衛生思想の普及と眼球の提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 登録申込はがき付リーフレット、啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献眼登録者へ機関紙「腎・アイバンクだより」および「愛の光」の配布

⑤財政基盤の強化等

支援団体であるライオンズクラブとの連携を基に、新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員） 387,000円（25件）

寄付金 184,800円（59件）

助成金 アイバンク愛の光基金 900,500円

日本アイバンク協会 12,960円

合計 1,485,260円

### (3) 腎臓バンク事業

腎不全患者の機能回復に資するため、腎臓移植の推進に向け、死後の腎臓提供者の登録の拡大を図るとともに、県民の腎臓病に関する正しい知識の普及啓発を行い、献腎への理解、協力を求めた。また、腎臓移植希望患者等に対する経費助成を行った。これらの事業にあたっては、日本臓器移植ネットワークとの連携や関係機関、関係団体等の支援および協力を得て推進・展開した。

#### ①死体腎提供者の募集および登録

死体腎の提供登録を推進するため、腎臓提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による腎臓提供者登録を行った。

令和2年度登録者 9名

実登録者数 3,121名

移植希望者 64名（令和2年12月31日現在）

**表1 腎臓バンク登録者実績表**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和3年度
登録者数	9	30	28	26	9
実登録者数	3,126	3,122	3,134	3,127	3,121
移植希望者数	72	65	56	64	64

#### ②腎臓移植に係る組織適合性検査への助成

##### I. 腎臓移植希望待機者の組織適合検査に対する助成

令和2年度助成実績数 3件

##### II. 滋賀県内における死体腎摘出チームおよび死体腎提供施設に対する助成（摘出腎が使用不可能な場合のみ助成）

令和2年度助成実績数 0件

#### ③啓発事業の実施

腎臓病に関する保健衛生思想の普及と腎臓提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

##### I. 啓発資料の配布

配布資料 登録申込はがき付リーフレット、啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

##### II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

##### III. 献腎登録者への機関紙「腎・アイバンクだより」の配布

#### ④財政基盤の強化等

賛助会費制度の理解と新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員） 307,000円（24件）

寄付金 144,000円（38件）

合計 451,000円

---

---

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を  
充実補完する事業

---

---

- (1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業
- (2) 母子保健関連推進事業
- (3) 医師会健診データ電子化事業

#### 4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業

##### (1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業

療養所に入所している本県出身者を一時帰省招待するため、本事業を実施した。また、ハンセン病に関する正しい理解と認識を得るため、講演会の開催や、リーフレットによる啓発および現地学習会を実施した。

###### ①一時帰省招待事業

###### I. 療養所訪問

期間 令和3年3月16日(火)  
面会者数 2名  
訪問先 国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園

###### II. 里帰り

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、帰省者なし

###### ②ハンセン病啓発事業

###### I. ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会の開催

###### 【1回目】

日時 令和2年8月2日(日) 14:00 ~ 16:30  
場所 長浜市市民交流センター  
内容 「新型コロナウイルス感染症と人権」  
講師 湖北じんけんネットワーク代表 田邊九二彦 氏  
「肝炎患者と人権について～患者会の歩みから～」  
講師 元滋賀県人権センター職員 田中守 氏  
「ハンセン病回復者として地域で生きるということ」  
講師 ハンセン病関西他所者原告団いちょうの会 A 氏  
参加者数 一般市民、人権推進員、市・NPO職員等 約50名

###### 【2回目】

日時 令和2年11月19日(木) 19:00 ~ 21:00  
場所 米原市民交流プラザ(ザ・ルッチプラザ)  
内容 「一緒に考えようハンセン病問題」  
講師 社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会  
ハンセン病回復者支援センター 井ノ山奈津子 氏  
「差別・偏見解消へ あるがままに生きる」  
講師 ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 宮良正吉 氏  
参加者数 人権教育推進員、一般市民、市職員等 約70名

###### 【3回目】

日時 令和3年3月15日(月) 14:00 ~ 15:00  
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室  
内容 「ハンセン病について」(ハンセン病について正しく理解を)  
講師 滋賀県健康づくり財団 健康運動指導士 多比良卓志  
参加者数 滋賀県健康づくり財団職員 約30名



## II. ハンセン病問題に関する現地学習会

新型コロナウイルス感染症拡大のため、現地学習会中止。

## III. ハンセン病啓発用リーフレットの作成および配布

作成数 8,000 部

配布先 県内中・高・大学校、県内各市町人権担当課、啓発講演会等

## IV. ハンセン病啓発用グッズの作成および配布

作成数 ハンセン病啓発巾着バッグ 500 個

ハンセン病啓発 A4 クリアファイル 2,000 部

配布先 啓発講演会等

## (2) 母子保健関連推進事業

### ①母子健康手帳別冊作成業務事業

妊婦と乳幼児の健康管理・保健指導の充実を図ることを目的に、県・市町の保健師等と交え、内容を精査検討し、県下統一の「母子健康手帳別冊」を作成し、配布した。

表 1 令和 2 年度分母子健康手帳別冊作成実績表

市町名	母子健康手帳別冊	市町名	母子健康手帳別冊
彦根市	950	高島市	340
長浜市	1,100	東近江市	1,100
近江八幡市	750	米原市	350
草津市	1,600	日野町	220
守山市	900	竜王町	120
栗東市	1,100	愛荘町	200
野洲市	550	豊郷町	80
甲賀市	750	甲良町	40
湖南市	520	多賀町	60
		合計	10,730

### ②妊婦委託健康診査費支払協力事業（市町委託事業）

滋賀県下の市町では、県内に居住し、市町から母子手帳の交付を受けている妊婦を対象に、その健康管理の向上と健康診査の一層の徹底を図るため、市町の委託医療機関において、妊婦の健康診査が実施されている。妊婦一般健康診査については1人につき14回以内とし、超音波検査は1人につき4回としている。その他、血液検査は妊娠初期・中期・後期と検査時期の目安をもうけ、各1回ずつ、子宮頸がん検査・B群溶血性レンサ球菌検査（GBS）・クラミジア検査についても、1人1回としている。新生児聴覚検査は、16市町で実施している。

また、妊婦がやむを得ない理由により県外の医療機関で妊婦一般健康診査を受けた場合、これらの費用の償還払いが行われている。

当財団では、妊婦委託健康診査事業費等支払業務の円滑な推進のため、市町が医療機関に委託して行う妊婦健康診査費用の請求にかかる請求書受理、仕分、点検および支払事務に関する業務を実施した。

表 1 妊婦委託健康診査事業費等支払業務実績表 (枚)

	基本健診	超音波	血液初期	血液中期	血液後期	子宮頸がん	GBS	クラミジア	新生児聴覚	市町の合計
大津市	29,522	9,204	2,454	2,298	2,055	2,433	2,174	2,392	0	52,532
草津市	13,598	4,259	1,146	1,065	953	1,132	1,001	1,090	914	25,158
守山市	8,849	2,756	746	679	626	737	656	678	636	16,363
栗東市	9,791	3,120	821	764	707	804	750	787	679	18,223
近江八幡市	7,630	2,365	615	596	507	619	561	574	572	14,039
日野町	1,633	505	129	132	114	128	112	135	121	3,009
竜王町	1,047	326	91	82	64	89	72	80	69	1,920
彦根市	9,609	2,997	788	771	675	782	724	780	0	17,126
豊郷町	537	172	48	43	36	47	37	49	44	1,013
甲良町	290	95	26	23	18	26	19	28	23	548
多賀町	555	171	42	40	43	42	41	42	52	1,028
長浜市	9,196	2,918	742	749	671	736	724	756	291	16,783
湖南市	4,788	1,471	391	366	356	388	367	371	348	8,846
野洲市	4,887	1,473	392	374	347	394	355	350	0	8,572
甲賀市	7,358	2,295	584	575	538	579	543	578	574	13,624
東近江市	10,648	3,311	873	813	723	864	772	867	832	19,703
高島市	1,336	448	121	105	79	121	74	128	79	2,491
米原市	3,379	1,058	279	274	228	278	264	286	269	6,315
愛荘町	1,908	594	148	147	130	149	145	142	143	3,506
合計	126,561	39,538	10,436	9,896	8,870	10,348	9,391	10,113	5,646	230,799

### (3) 医師会健診データ電子化事業 (滋賀県医師会委託事業)

厚生労働省では生活習慣病の有病者及び予備群が増加傾向にあることから平成 20 年度に医療制度改革を実施し、医療保険者による特定健康診査、後期高齢者健康診査を開始した。

滋賀県医師会では県内全域の医療機関で特定健康診査、後期高齢者健康診査が受診できるよう医療保険者代表者と集合契約を締結した。

しかし、集合契約では各医療機関が独自に支払代行機関への電子化請求、および結果通知表作成を実施する必要があるため、健康診査を実施しない医療機関が増え滋賀県民の受診機会(受診率)が減少することが危惧された。

そのために、平成 20 年度より当財団が電子化請求代行業務、および結果通知表作成業務を受託することになった。そのことにより県内医療機関での特定健康診査(後期高齢者健康診査)

が実施可能となり、滋賀県民の受診機会を損なわないようサービスを提供し続けている。

令和2年度は515医療機関より56,423件の電子化依頼があり、前年より2,059件増加減少した。

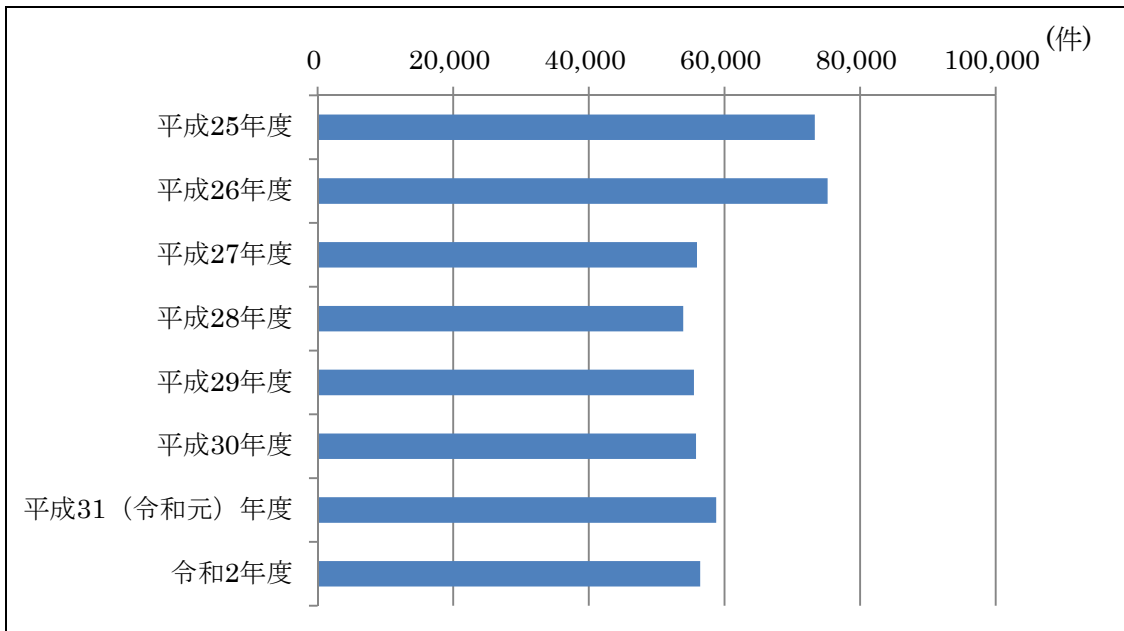
#### 主な業務内容

滋賀県医師会発行「特定健康診査等実施の手引き」の一部原稿作成、校正  
記入用OCR帳票の作成（電子化依頼書・特定健診受診票）  
記入内容のチェック  
結果通知表の作成  
支払代行機関への請求代行  
医療機関からの問い合わせ対応

表1 電子化依頼受付件数(医療機関数)の推移

	受付医療機関数	受付件数
平成25年度	524 機関	73,333 件
平成26年度	526 機関	75,215 件
平成27年度	525 機関	55,957 件
平成28年度	520 機関	53,931 件
平成29年度	513 機関	55,508 件
平成30年度	518 機関	55,857 件
平成31(令和元)年度	516 機関	58,782 件
令和2年度	515 機関	56,423 件

図1 受付件数の推移



---

---

## 5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

---

---

- (1) 結核予防会滋賀県支部事業
- (2) 日本対がん協会滋賀県支部事業
- (3) 個人情報取り扱いを適切に行う体制整備事業

## 5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

### (1) 結核予防会滋賀県支部事業

財団法人結核予防会が設立されたのは昭和14年5月22日である。当時の結核で死亡する者は10数万人を超え、死亡原因の首位を占めていた。また、死者・患者とも青年層に多く亡国病と呼ばれていた。この状態を深く憂慮された昭和の皇后陛下の令旨によるものである。

滋賀県支部の設立は昭和15年3月26日であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置いていた。昭和55年4月1日に財団法人結核予防会滋賀県支部と滋賀県公衆衛生協会と統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、その事業として結核予防会滋賀県支部事業を行ってきた。

結核予防会本部においては平成22年度、当財団においては平成24年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である結核予防会の支部としての事業を行っている。

#### ①第72回結核予防全国大会（オンライン開催）

##### I. 開催期日

令和3年3月2日(火)

##### II. 開催場所

東京都：発信拠点 リーガロイヤルホテル東京

##### III. 主催

公益財団法人結核予防会

#### ②結核予防会近畿ブロック会議

##### I. 開催期日

令和2年10月8日(木)

##### II. 開催場所

ホテルセントノーム京都

##### III. 当番府県

京都府（一般財団法人京都予防医学センター）

#### ③結核予防婦人団体への助成

結核予防婦人団体である公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の滋賀県支部は、滋賀県地域女性団体連合会である。同連合会が結核予防をはじめ、県民の健康づくりの向上を図るために、連絡協議会の年会費や会員が参加する研修等に助成を行っている。

主な研修会等

- ・第25回結核予防関係婦人団体中央講習会（オンライン開催：東京都：配信拠点 KKRホテル東京）
- ・第72回結核予防会全国大会（静岡県：ホテルセンチュリー静岡）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止（オンライン開催：発信拠点 リーガロイヤルホテル東京）

## (2) 日本対がん協会滋賀県支部事業

がんは昭和 56 年に死亡原因の第一位となり現在に至っている。財団法人滋賀県対ガン協会が設立されたのは昭和 36 年 4 月であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置き、財団法人日本対がん協会滋賀県支部も兼ねていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人滋賀県対ガン協会と滋賀県公衆衛生協会と統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、がん征圧推進母体としてがん予防にかかる正しい知識の普及啓発、健診活動を行ってきた。

日本対がん協会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である日本対がん協会の支部としての事業を行っている。

### ①令和 2 年度がん征圧全国大会（オンライン開催）

#### I. 開催期日

令和 2 年 9 月 18 日(金)

#### II. 開催場所

発信拠点 公益財団法人日本対がん協会

#### III. 主催

公益財団法人日本対がん協会

#### IV. 大会テーマ

「東京から全国へ コロナ時代のがん征圧」

#### V. 参加者

国、都道府県、市町村の保健・医療関係者

日本対がん協会各都道府県支部

その他の保健・医療関係者、一般県民など

### ②日本対がん協会近畿ブロック会議

#### I. 開催期日

令和 2 年 10 月 29 日(木)

#### II. 開催場所

メルパルク京都

#### III. 当番府県

京都府（一般財団法人京都予防医学センター）

## (3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業

令和 2 年度は、平成 28 年 9 月から運用を開始している、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の適正な運用のため、従業者の教育・内部監査・PMS の見直しを実施した。

また、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が PMS とその運用が適正であることを評価し、その証として付与する「プライバシーマーク」の認定更新にかかる申請準備を実施した。

『主な実施内容』

令和2年8月	PMS委員会の開催
令和2年9月	従業者への教育実施
令和3年2月	内部監査
令和3年3月	マネジメントレビュー



---

---

## 6. 精度管理

---

---

(1) 内部精度管理

(2) 外部精度管理

## 6. 精度管理

### (1) 内部精度管理

#### ①細胞診断の精度管理

- ・偽陽性以上検体のダブルチェック
- ・陰性症例 10%をダブルチェック

#### ②X線画像の精度管理

- ・「滋賀県健康づくり財団検診画像検討会」で、外部専門医師（放射線医）が検診画像、読影について評価、検討

#### ③胃がん検診

- ・胃がん検診専門技師認定者（5名）による撮影
- ・胃がん検診専門認定医師認定者（6名）による読影

#### ④乳がん検診

- ・マンモグラフィ技術試験評価での A、B 認定資格者（3名）による撮影
- ・マンモグラフィ読影試験評価での A、B 認定資格者（5名）による二重読影

### (2) 外部精度管理

#### ①一般健診（血液・尿等）

- ・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会の精度管理  
全ての項目 A 評価

#### ②一般健診（計測）

- ・一般社団法人滋賀県計量協会 特定計量器定期検査

#### ③胸部画像（結核健診・肺がん検診）

- ・結核予防会胸部画像評価会精度管理研究会 画像評価 B 判定（読影に適している）

#### ④胃がん検診

- ・日本対がん協会診療放射線技師研修会画像評価実施（読影に適している）

#### ⑤乳がん検診

- ・公益財団法人日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定を取得

#### ⑥細胞検査（子宮頸がん検診・肺がん検診）

- ・日本臨床細胞学会の精度管理に関わる施設認定を取得
- ・精度管理細胞部会の症例問題フォトサーベイに参加

---

---

## 7. その他の活動記録

---

---

(1) 沿革

(2) 役員会の開催状況

(3) 年間行事

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

(5) 学会等の研究発表

## 7. その他の活動記録

### (1) 沿革

昭和 55 年 4 月 財団法人滋賀県保健衛生協会設立

(財) 結核予防会滋賀県支部 (昭 15 年・設立)、(財) 滋賀県対ガン協会 (昭 34 年・設立) および滋賀県公衆衛生協会 (昭 34 年・設立) の事業を継承する。

昭和 56 年 8 月 事務所を移転 (滋賀県大津市におの浜 4 丁目 4 - 5)

平成 15 年 4 月 財団法人滋賀県健康づくり財団に名称変更

(財) 滋賀県アイバンクと (財) 滋賀県腎臓バンクを (財) 滋賀県健康づくり財団に統合。

平成 24 年 4 月 公益財団法人滋賀県健康づくり財団に移行

平成 27 年 11 月 現在地に事務所を移転 (滋賀県大津市御殿浜 6 番 28 号)

### (2) 役員会の開催状況

#### ①監査会

日時 令和 2 年 5 月 22 日 (金) 13:55 ~ 15:40

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

出席監事 2 人

内容 平成 31 (令和元) 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告 (案) について  
平成 31 (令和元) 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算報告 (案) について  
その他

#### ②理事会 (第 42 回 : 決議の省略)

日時 令和 2 年 5 月 29 日 (金)

回答理事 7 人

回答監事 2 人

議題

##### ・議第 2 - 1 号

平成 31 (令和元) 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告 (案) について

##### ・議第 2 - 2 号

平成 31 (令和元) 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算 (案) について

##### ・議第 2 - 3 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の候補者について

##### ・議第 2 - 4 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について

##### ・議第 2 - 5 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 監事の候補者について

- ・議第2-6号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第23回評議員会の招集について

③評議員会(第23回:決議の省略)

日時 令和2年6月15日(月)

回答評議員 9人

議題

- ・議評第2-1号

平成31(令和元)年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算(案)について

- ・議評第2-2号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の選任について

- ・議評第2-3号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

- ・議評第2-4号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 監事の選任について

- ・議評第2-5号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 定款の変更(案)について

④理事会(第43回:決議の省略)

日時 令和2年6月15日(月)

回答理事 7人

回答監事 2人

議題

- ・議第2-7号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事長(代表 理事)の選定について

- ・議第2-8号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 副理事長および専務理事(業務執行理事)の選定について

- ・議第2-9号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事長の職務権限の代行者の順序について

⑤理事会(第44回:決議の省略)

日時 令和3年3月26日(金)

回答理事 7人

回答監事 2人

議題

- ・議第2-10号

令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支補正予算(案)について

- ・議第2-11号

令和2年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み変更(案)について

- ・議第2-12号

令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業計画(案)について

- ・議第2-13号  
令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支予算(案)について
- ・議第2-14号  
令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み(案)について
- ・議第2-15号  
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 役員および評議員の報酬等と費用に関する規程の一部改正(案)について
- ・議第2-16号  
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について
- ・議第2-17号  
令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 常勤役員の月額報酬等の額の決定について
- ・議第2-18号  
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第24回評議員会の招集について

⑥評議員会（第24回：決議の省略）

日時 令和3年3月31日(水)

回答評議員 9人

議題

- ・議評第2-6号  
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 役員および評議員の報酬等と費用に関する規程の一部改正(案)について
- ・議評第2-7号  
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

### (3) 年間行事

年 月 日	内 容
令和2年7月6日	第1回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和2年7月30日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修1日目
令和2年8月2日	第1回ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和2年8月5日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修2日目
令和2年8月20日	第1回がん出張セミナー・健康講座
令和2年8月21日	第1回臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和2年8月27日	がん検診検討会 部会長会議
令和2年8月27日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修3日目
令和2年9月11日	がん対策活動団体情報交換会
令和2年9月23日～9月25日	結核予防週間啓発活動 (FM ラジオ CM 放送)
令和2年9月～10月	がん検診受診啓発広告プロジェクト(テレビCMでの啓発)
令和2年9月～10月	がん検診受診啓発広告プロジェクト(防災ハンドブックの広告欄掲載)
令和2年10月1日、15～16日	臓器移植普及推進キャンペーン (FM ラジオ CM 放送)
令和2年10月12日	市立長浜病院内臓器提供委員会
令和2年10月15日	結核予防事業協賛秩父宮記念杯 複十字シール募金活動
令和2年10月24日～10月25日	リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2020
令和2年11月17日	がん検診検討会 肺がん部会
令和2年11月19日	第2回ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和2年11月25日	長浜赤十字病院脳死下臓器提供シミュレーション
令和2年11月26日	がん検診検討会 乳がん部会
令和2年12月3日	第1回乳がん患者の集い
令和2年12月17日	がん検診検討会 子宮頸がん部会
令和2年12月23日	第2回がん出張セミナー
令和2年12月23日	がん検診検討会 胃がん部会
令和3年1月28日	がん検診検討会 大腸がん部会
令和3年2月5日	第2回臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和3年2月18日	第51回滋賀県公衆衛生学会
令和3年3月1日	第2回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和3年3月4日	第2回乳がん患者の集い
令和3年3月6日	消化器(胃)がん検診従事者講習会
令和3年3月13日	肺がん検診従事者講習会
令和3年3月15日	第3回ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和3年3月16日	ハンセン病療養所訪問 (国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園)
令和3年3月18日	第3回がん出張セミナー

#### (4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

年 月 日	内 容
令和2年6月24日～6月26日	2020年度B級コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和2年7月27日	ゲートキーパー養成研修会（草津市健康増進計画推進部会）
令和2年7月30日	一般財団法人日本経済社会推進協会（JIPDEC）事業者向け説明会【オンライン開催】
令和2年9月2日	令和2年度複十字シール運動担当者会議【オンライン開催】
令和2年9月18日	2020年度がん征圧全国大会【オンライン開催】
令和2年10月5日～10月16日	第63回日本糖尿病学会年次学術集会【オンライン開催】
令和2年10月8日	結核予防会近畿ブロック会議（京都府）
令和2年10月29日	日本対がん協会近畿ブロック会議（京都府）
令和2年11月9日、12月14日	滋賀県栄養士会生涯教育研修会【2日ともオンライン開催】
令和2年11月19日	滋賀県糖尿病性腎症重症化予防対策推進研究会（滋賀県）
令和2年11月19日、12月10日	滋賀産業保健総合支援センター看護職・衛生管理者対象研修（大津市）
令和2年11月25日	JATA 災害時支援協力者研修【オンライン開催】
令和2年11月28日	全国アイバンク連絡協議会（日本アイバンク協会）【オンライン開催】
令和2年12月16日	あっせん業務に関連した研修会（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和2年12月18日	全国都道府県臓器移植コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和2年12月21日～12月22日	西日本組織移植NWコーディネーター拡大版研修会（西日本組織移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和3年1月23日	いのちの教育セミナー2020（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和3年1月30日～1月31日	コーディネーター合同研修会（日本組織移植学会）【オンライン開催】
令和3年2月6日	草津市肺がん検診精度管理研修会（草津市）【オンライン開催】
令和3年3月2日	第72回 結核予防会 全国大会【オンライン開催】
令和3年3月5日	長浜市乳がん検診精度管理委員会（長浜市）
令和3年3月20日	第49回日本消化器がん検診学会近畿地方会・第30回保健衛生研修会【オンライン開催】
令和3年3月20日	スポーツ・運動指導者講習会（枚方市スポーツ協会）（大阪府）



---

---

## 8. 組織、役員名簿

---

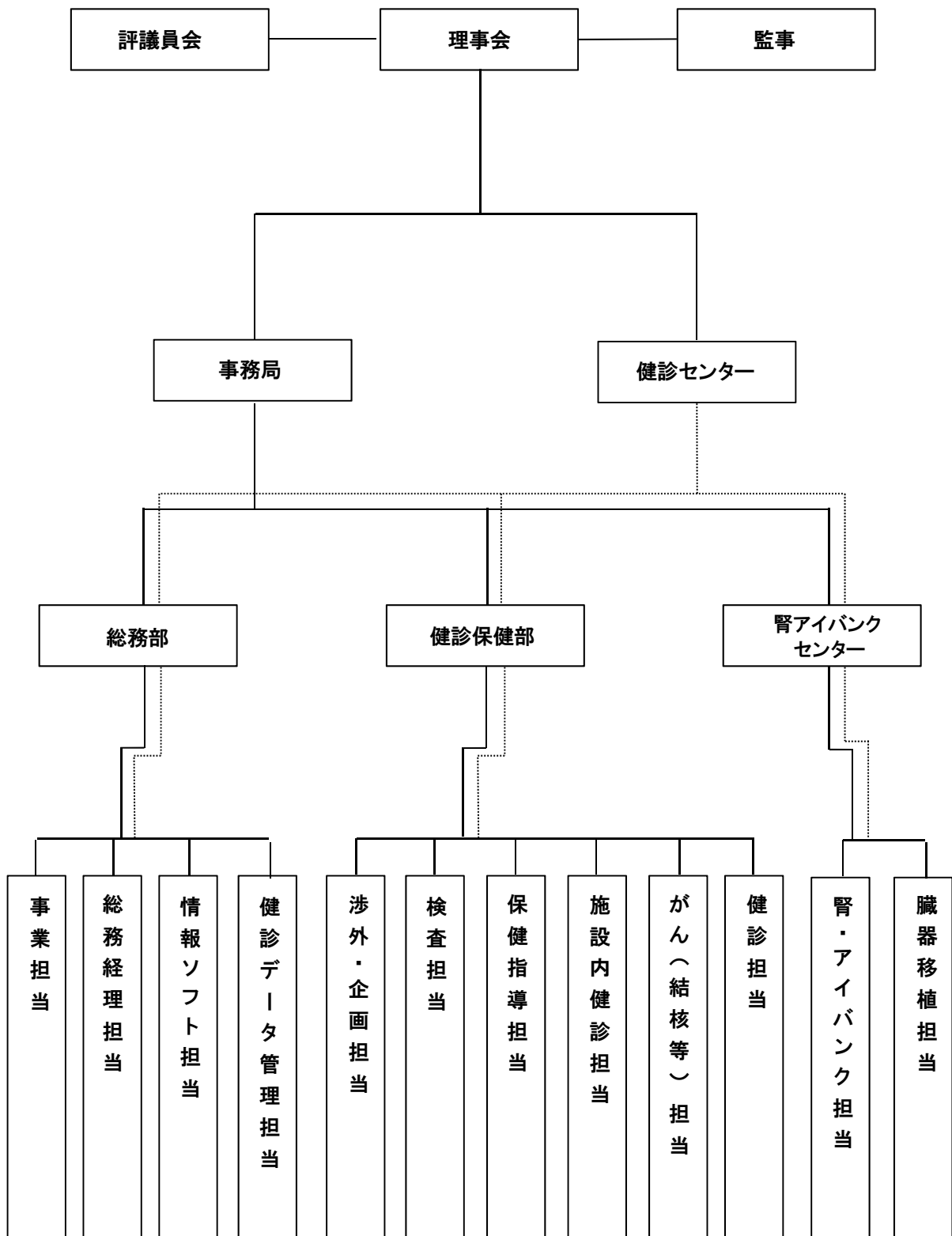
---

(1) 組織

(2) 役員名簿

## 8. 組織、役員名簿

### (1) 組織



## (2) 役員名簿

令和2年度

役員の名	氏名	就任年月日	備考
理事長	中 井 清	平成30年4月1日	
副理事長	越 智 眞 一	平成30年5月9日	
専務理事	水 田 和 彦	平成29年4月1日	
理事	川 崎 辰 己	平成30年4月1日	令和3年3月31日退任
理事	岩 永 裕 貴	令和元年5月24日	
理事	石 川 浩 三	平成26年6月5日	
理事	野 村 京 子	平成26年6月5日	
評議員	切 手 俊 弘	令和2年4月1日	
評議員	伊 藤 定 勉	平成26年1月31日	
評議員	小 西 眞	平成30年5月2日	
評議員	荒 木 勇 雄	平成30年6月14日	
評議員	平 尾 勝 代	令和元年5月24日	
評議員	古 山 忠 宏	平成30年6月14日	
評議員	岩 井 宗 男	平成28年6月14日	令和2年6月15日退任
評議員	大 本 和 由	令和2年6月15日	
評議員	宇 田 洋 三	平成24年4月1日	令和2年6月15日退任
評議員	山 本 章	令和2年6月15日	
評議員	青 木 隆 三	平成26年7月30日	
監事	円 水 成 行	平成24年4月1日	
監事	徳 永 博 史	平成24年4月1日	

## 令和2年度 事業年報

---

発行日：令和4年3月

発行者：公益財団法人滋賀県健康づくり財団

〒520-0834 大津市御殿浜6番28号

TEL：077-536-5210（代）

FAX：077-536-5211